

越後才全集

定

818.41

Ta835e



81641 Ta

新瀧縣書記倉從五位村上義雄君題字

東瀧縣書記倉從五位村上義雄君序文

# 越後方言集 定

新潟縣尋常師範學校教諭新保正與君校閱

墨軒居士田中勇吉編輯

學



812.41 Ta 835 e

新潟縣書記官從五位村上義雄君題字

華族女子學校  
東京專門學校  
講師關根正直君序文

# 越後方言集

国立国会  
297.22  
図書館  
定

新潟縣尋常  
師範學校  
教諭新保正與君校閱

墨坐軒居士田中勇吉編輯

337324

818.41 14.822c

辨真

辨真

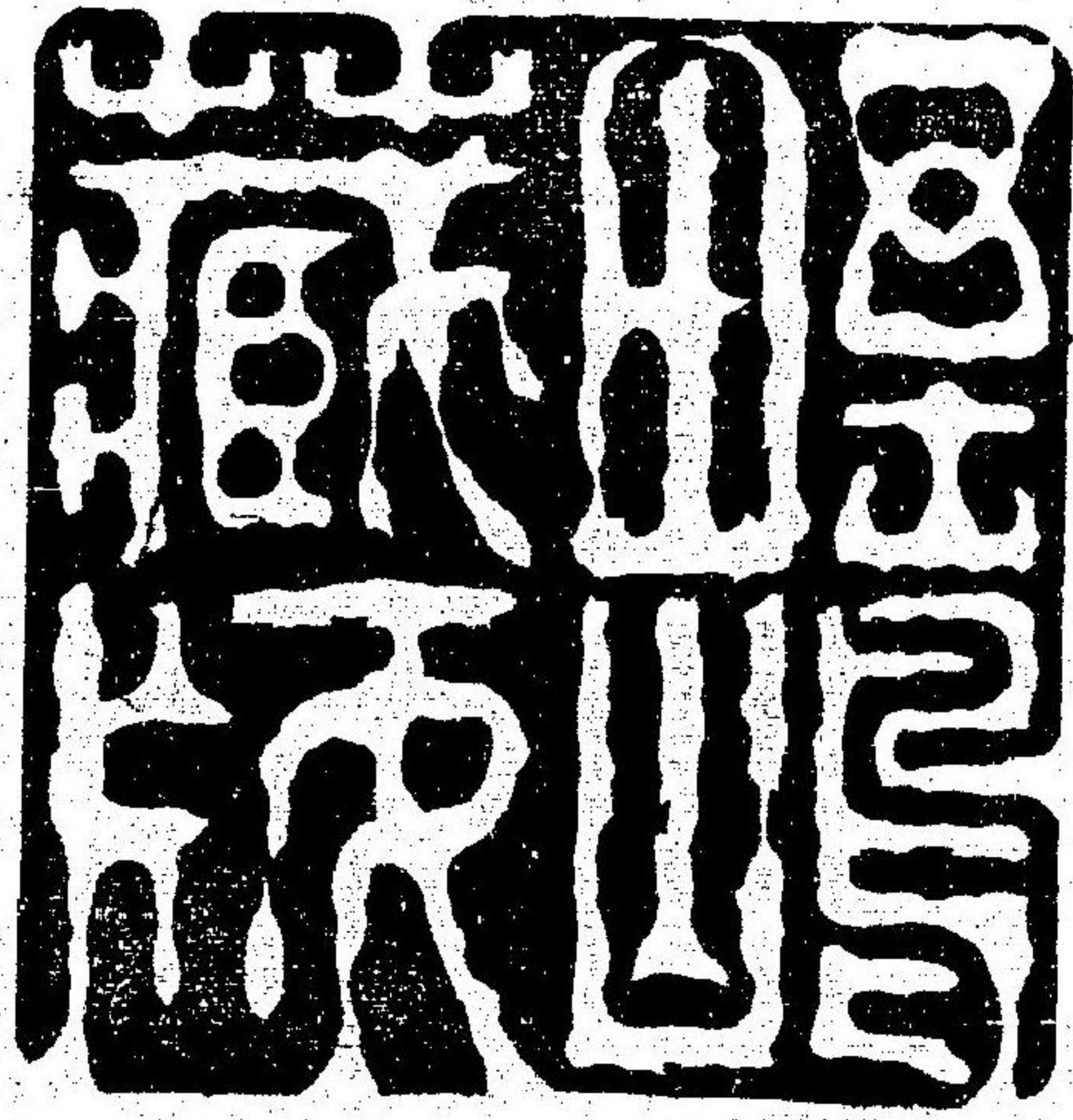


風  
韻

壬辰之初冬

淡墨題





親波のありと伊勢に濱藪といひは群  
 とらふよもやてもの名のわかぬこと古  
 かりけりまらむなりしか珠子徳川殿天下  
 の政を執行してあるたの大名をよ  
 けおけ領せし頃とよむらふよと語風俗  
 おもむらふしとらふてそけりいふと  
 おけしものものかき一もたさるるり今  
 よ徳をあらはしは母遠く珍らしとて  
 あれ中にとらふりの雅とれ跡さるる

多うりらねら採りてあはれはむよと語学  
上の資料と其素考とを兼ねて極めて  
為るものむらうを近き地へ集めたり  
起らんとせよはむらうとていふはむら  
とる筋の古を編り研究のむらうとてい  
人々のむらうと年むらうむらうとてい  
越作方を集りてむらうのむらうの著  
者田中むらうと一冊の識むらうむらう  
過むらうと存むらうと学説の事むらうと古識むら

中むらうとていふむらうとていふむらう  
むらうとていふむらうとていふむらう  
と求めらるるむらうとていふむらうと  
むらうとていふむらうとていふむらう  
序文むらうとていふむらうとていふむらう  
て何れとていふむらうとていふむらう  
君らとていふむらうとていふむらうと  
とていふむらうとていふむらうと  
とていふむらうとていふむらうと

わが志をなすに人の心を動かすは書かざるを得ず。その故にわが心は常に東洋の文化にあり。詞をよむは心を得る。

明治廿五年十月

関根正直識

我をかく

本書編纂ノ大意

一從來語學家ハ概シテ雅語ノ研究ニ偏シ、方言ノ如キハ注意スルモノ殆ド少カリキ。然ルニ近年奎運ノ隆盛ニ際シ、言文一致ノ説起リシヨリ、大ニ其必要ヲ感ジ、帝國大學ヲハジメトシテ、人類學會等、頻リニ此業ニ熱心スルコトトハナリヌ。予勇吉淺學不識ヲモ忘レテ、ユノ事ヲノミ思ヒ渡リシ間。明治廿一年十一月新潟縣有志教育會雜誌ト新潟歌學協會雜誌トニ廣告シテ其材料ヲ募集シ、アルハ簡ヲ各郡ノ知己ニ馳セテ通信ヲ請ヒシニ、寄稿スル者八十有餘名ノ多數ナルニ至レリ。之ニ加フルニ嚮キニ廣瀨吉彌氏ノ本縣尋常師範學校奉職中、同校生徒ニツキテ調査セラレシ材料ヲ新保正與老師ヨリ賜ハルヲ得タリ。ソノ外酒宴ノ席ニモ、集會ノ場ニモ、方言ノフト耳ニトマルアレバ、手帳ニ書キ付ケナドシテ、多少ノ苦心ヲ籠メキ。サリナガラ、コノ事固ヨリ此度ノミニシテ廢スベキニアラズ。猶年ヲ逐ヒテ刪修モスベ



シ。増補モスベシ。命アラン限りハ百折不撓千挫不屈ノ格言ヲバ忘レシ。看官願ハクハ之ヲ諒セヨ

一今日、教育上尤急務ナルハ何ナルカト問フモノアラハ、予ハ猶豫ナク、文章ヲ改良シテ普通文ヲ一定スルニ在リト答ヘン。サレト先ツ雅言俗語ノ一致ヲ圖ラデハイカデ、其功ヲ奏スヘキ。コレ方言ノ等閑ニ附スヘカラサルユエヨシナリ。大凡ソ人ニ先ナテ業ヲ創ムル者ハ勞多クシテ其功少ク、人ニ後レテ事ヲ爲スモノハ勞少クシテ其功多キニ、オフケナクモ、此盤根錯節ノ爲メニ一身ヲ犠牲ニ供スルコトトナリツルハ、オノレナガラ嗚呼ナリケリトゾオボユル。サルニテモ興セル業ハヤムベキニアラスト信シ、マスマス氣力ヲ奮ヒテ、日夜編輯ニ従事セリ。此間、年月ト資金トヲ徒費セシコト實ニ豫想ノ外ニテ、誰人カ已レガ心事ヲ推シ量リ得ン

一此書三章ニ別テ、第一章ニハ体言ヲ記シ、天地、人倫等ノ諸門ヲ收ム。第二章

ニハ用言。第三章ニハ助辞ヲ載セ、附クルニ音韻ヲ以テセリ。モト普通辞典ノ體例ニ倣ヒテ、各語ヲ字母ノ順序ニテ排列セント思ヘリシカド、中々ニ亂雜ニ陥ラン恐アリシユエ、分類ノ方法ニヨリテ、語原ノ知ラルル限りハ本邦ノ古書ニ徴シ、アルハ臆説ヲ加ヘタリ。又表中ノ語ハ未ダ考ヘザルモアレド、大カタ一目シテ分リヤスキ訛言ノ類ヲ掲ゲタリ。サテ使用地ノ欄内ノ空白ナルハ全縣ニ涉ルカ、若シクハ三四郡ニ用井ラル、詞ナリト知ルベシ

一集中繁雜を避けんため略符を用ゐたり、左の如し

- 万は万葉集
- 古今は古今集
- 東蒲は東蒲原郡
- 西蒲は西蒲原郡
- 北蒲は北蒲原郡
- 南蒲は南蒲原郡
- 中蒲は中蒲原郡
- 南魚は南魚沼郡
- 北魚は北魚沼郡
- 中魚は中魚沼郡

●中頸は中頸城郡

●西頸は西頸城郡

一終リニ臨ミ、此書ノ成功ニツキテ一言セン。新保正與老師ハ斷エズ保護者ノ位置ニ立テテ、校閲訂正ノ勞ヲ探ラル。田中小稻氏モ、夙クヨリ方言ヲ取調ベラレシカバ、予ハ其稿本ヲ借リテ裨益ヲ得タルユト少カラズ。又編輯中ノ質疑ニ至リテハ物集高見、黒川眞頼、那珂通世、日野資徳諸大人ノ示教實ニ感謝ニ堪ヘザル所ナリ

明治廿五年八月三日

墨軒居士田中勇吉識ル

越佐方言集

墨軒 田中勇吉 編輯

第一章 體言ノ部

(甲) 天地門 (天象、地儀、附金石、時限。)

○東風ヲだし又ハだーの風トモイフ。コレ八十八夜ノ後ノ東風ヲ越後人ハ「稻いだし」ト呼ブ。モシハ其略語カ。或ハ「出風」ノ略ニテ、船ヲ西北ナル日本海へ出ダス意ナリトモイフ。西頸城郡ニテ之ヲわいトモわいの風トモイフハ万葉集ノ越中哥ニ「年魚風」トアル是ナリ。蒲原ニテハ暑中ノ北風ヲイフ。コレ正シトイハンカ。年魚ノ上ルトキナレバナリ。

○西南風ヲひなたトイフハひかたノ轉ナリ。万葉ニ「あまさらひひかた吹く」水莖の岡のみなどに「波立渡る」トアリ。

○虹ヲのトトイフハ一般ナリ。佐渡新穂邊ニテハねトトイヒ、西頸城ニテハみようトトイフ。按ズルニ万十四「いかほろのやさかのゐてにたつ」ト云云。又同卷ニ「とね川の河瀬も知らずたゝわたりなみにあふのす」トモヨメリ(和名一説ニハぬトトアリ。)

○樋ヲとよトイフハ「樋」ノ訛ナリ。

○山河池沼ニ舊クヨリ棲ミテ靈アリトスル動物ヲぬート稱スルハ「之大人」ノ約ニテ人ヲ尊稱スルニ

添フル語ヨリ轉ジタルナラン。

○氷柱ツラツヲかきこほり又ハかねツこほりトイフハ堅キト金鐵ノ如キヲ以テカ。

○霰ツラツヲあなれ又ハあなね(中魚沼)トイフ。

○水上ニ氷板ヲ結ブヲさい又ハぎやトイフハ「サエ浜」トイフ用語体言ノ轉ナリ。

○大雨ヲ大ーやちく(南蒲)トイフ、ハ車軸ヲ流ストイフヨリ出タル語カ。又ざらくトモ呼フ。

○石油ヲくさうづトイフハ草生津(石油産出ノ地名)ヨリ出デシナルヘシ。

○家屋ト家屋トノ間ヲひやなかさイナカサトイフハ「家中間」ノ轉ナルヘシ。

○深田ヲやちトイフハ野地ノ意ナルヘシ。

○今ヲんまトイフ。コハ昔ノ人ノ常ニ今トイヒケル詞ノカク聞エタル故ニヤ。ワザトイフヘキニアラ  
ネバ馬ニヨセテノミヨメリ。六帖ニ「あつま路のむまやむまやどかぞへつあふみのちかくなるが  
うれー」トアルむまやむまやモ「今カ今カ」ノ意ナリ。

○太陽ヲなんまさま(古志郡山間)トイフハ南無阿彌陀佛様ノ轉語ニテ、太陽ヲ佛ト誤解スルヨリ出  
デシナラン。又てんたうさまト稱フルハ佛氏ノ大日ノ稱ニ起ルトイフ。但シコレハ通語ナリ。

○前夕ヲよんべ、よんべなトイフハ「夜方」ノ義ノ音便訛ナリ。万葉大伴郎女ガ哥ニ「あまさはりつね  
ざる君は入方のよんべの雨にこりにけむかも」トアリ。土佐日記ニモ「舟子の歌ふ歌によんべのう  
なひもかなひもがな」トアリ。又もふべ、ゆふさる、(三嶋)もふさり、もふされト呼ブハ現在ナルヲ

誤レルナラン。

○朝ヲあさげトイフハ「朝明」ノ義ナルヲ濁音ニ訛レルナリ。

○此頃コノトキヲこないコノトキ(此間)ノ約轉カ。又ハこんトよなトモこんじら(古志)トモイフ。

○日外イツクヲいつツねかにトイフハ「イツシカニ」ノ轉ナラン。

○先刻サキトキヲさけだ、(岩船)さけな、(北蒲)ささあがたー(西蒲)ナドイフ。

○昨日キノヲきんな、(西蒲)きぬな、(頭城)きんにや(北蒲)きんよ(東蒲)トイフ。

○堤ヲててトイフハ土堤ノ濁音ナルヘシ。

○森又ハ藪ヲやちトイフハ野地ノ義ナルヘシ。

○梅雨ウメアメヲさづサズトイフハ「サツキ」ノ音便ナリ。

○山巔ヤマノネヲてつぺん又ハすてつぺんトイフ。コノモハ句頭ノ助辭ニシテ、てつぺんは背ヨリ出デタル語  
ナリ。

○庇ヒヲがぎ又ハがんぎトイフ。工匠ノ詞ニイノ字ノ形ニ木ヲ組ミテ他ノ直立形ノ物ニ寄セ立ツルヲ  
がんぎト呼ブモ雁木ノ意ナルヘシ。紐ニテ耳ニカクル眼鏡ノ額骨ヲ撐フル者ヲがんぎトイフニテ  
知ルヘシ。南魚沼ニテハどばトモれんとトモイフ。どばハ苦蕒クワヲイフカ。れんとハ連子ニテ蒔、格子  
ノ類ナリ。

○泥ドロヲどた(一船)でろ(中魚)トイフ。

○園庭ヲつば又ハつばとトイフ。コレ一般ナリ。(つばハ雅言ニテ清盛公ノ西八條ノ蓬坪ノ類。中魚沼ニハかきトイヒ、五泉地方ニハろトトイフ。(ろトハ路次ニテ茶室ヨリ出デタル語ナラン。)

○澤ヲそね(北浦)ト呼ブ。コレハ固有ノ体言ニツ、ケテ何とトイフナリ。

○薪置処ヲ北浦原郡ニテハたきーり又ハたきーろトイフ。

○大便所ヲせんちん、(雪隠の轉語)かんトよ、ちうづば、(手水場カ)はばかりトよ、(武家ノ殿中詞)かうか(「カハヤ」ノ轉)ナドイフ。

○下水ヲ中浦原郡ニハせんなげ又ハせせなげトイヒ、魚沼地方ニハせなトイヒ、南浦ニハひやぎり、又ハはれりトトイヒ、一般ノ稱呼ニハとぶ又ハためトリトイフ。

○田畝ヲたんば(田圃カ)たなば(田ノ場ノ轉語ナラン。コレハ北浦ノ方言)トイフ。

○嶺ヲつるね(三嶋)ひね(北浦)うね(北魚)トイフ。

○雪ヲばたもき又ハいさト呼ブ。

因ニイフ。上總國ニハ之ヲばたん雪ト稱フルヨシナリ。又姓氏録ニ壹岐連ヲ雪連トモイヘレバゆき、いき通用ハ古格ナリ。

○灰ヲあく又ハあやトイフ。(和名鈔ニ曰ハク。弁色立成云灰汁ハ阿久淋之流<sup>阿久太</sup>アルコレナリ。)

○去年ヲきよんなトイヒ、一昨年ヲねとどーな(コレハきよんなニ牽レテナラン。)トイフ。(昨日ヲきんなトイフモコノ類ナリ。)

○明後々日ヲやのあさってトイフ。(やハ「彌」ナリ。)

○硫黄ヲいわたイフハものあわノ略語カ。

○塵埃ヲごみトイフハ込水ノ淤泥ヨリ出デタル語カ。

| 雅語若シクハ通語 | 方言                     | 使用地      | 雅語若シクハ通語 | 方言       | 使用地 |
|----------|------------------------|----------|----------|----------|-----|
| 辻        | 四つ口又ハ四つ門 <sup>カド</sup> | 古志       | 今夜       | こんにや     |     |
| 明日       | あーた                    |          | 熾餘       | もえーやれ    |     |
| 土        | べと                     |          | 竹林       | たから      |     |
| 畝ノ間      | はざこ又ハはつて               | 西浦<br>南魚 | 往時       | まへト又ハまへと |     |
| 夜        | よろ                     |          | 晝        | ふるま      |     |
| 寸沙(スサ)   | また                     |          | 田畑       | やま       |     |
| 火        | ぶうや                    | 南魚       | 冬圍       | ふいがくる    |     |
| 泉水又ハ堀    | たない                    | 古志       | 北風       | ねさあけ     | 西頭  |
| 南風       | ぢもん                    | 西頭       | 西風       | くだり      | 西頭  |
| ミヅレ      | みそで                    | 西頭       | 畑        | けふ       |     |
| 築池       | たなんばう                  | 岩船       | 時期       | きなう      |     |

|     |          |          |    |      |    |
|-----|----------|----------|----|------|----|
| 庭池  | いげす      |          | 肥糞 | だら   | 西浦 |
| 苗代  | ながゝろ     |          | 崖  | まま   |    |
| 一昨日 | ねとてな     |          | 來年 | だいなん |    |
| 土間  | には       | 西浦<br>刈羽 | 道外 | さらなり | 三嶋 |
| 水   | んぼう(小兒語) |          | 生牆 | くね   |    |

(乙) 人倫門 (人稱、人体)

○父ヲとど、又ハつあつあ(西頸城地方ニハ中等社會以上ノ小兒、父ヲ呼ブニとんちやんトイヒ、津川近邊ニハさっさトイフ。)トイフハ「チチ」ノ轉訛セルニテ、とつあまトイフモ父様ト尊稱スル義ナルヘシ。(又岩船郡ニテハだだ或ハまわトイヒ、中魚ニテハまわ或ハつやトイヒ、佐渡ニテハだわんトイフ。)

○母ヲかかトイフモはハノ轉訛セシナルヘシ。サレドアル學者ハ袖中抄「きりぎりまのなく聲つづりさせがかはひろはむ」ノ例ヲ引キテ下賤ノ者ノ妻ヲかかト呼ブヨリ出デタリト説ケリ。又わや若シクハわばトイフモ母ノ轉音ナルヘシ。コレ汎稱ナリ。魚沼ニハちやちや、西浦下等社會ニハはざト呼フ。因ニイフ。小兒ノ母ニ對シテあつばトイフハ「吾ガ母」ノ轉語カ。

新保正與曰ハク。かかハ「カナシ」ノ片言ヲ重ネシナラン。又曰ハク。西浦ニテ妻ヲいのトイフ處アリ。家主ノ意ナリ。

○兄ヲあんにやトイヒ、之ヲ尊稱シテあんざ、あんちや、あにど(兄御ノ義)あんにやざ、あんにやさまトイフ。又東浦ニテれせなト呼フハ「兄名」ノ義ニテ古哥ノ「夜もあけはさつにはめなむくたのけのまだきに鳴きてせなをやりつる」ヨリ出デシ語ナラン。あよきモ兄君ノ意ナリ。

田中小稻曰ハク。あんにやトイフ詞ハ四十<sup>四</sup>くさかけのあぬぬあゆむとはしりみち阿訶訶ハもきてあらくさたちぬ。コノ阿訶訶ハ今ノあんにやナルコトウツナシ。淨瑠璃テフモノニあにトヤ人ナドイフハナカナカ末ナル詞ナルヘシ。

○痴ヲかさびたトイフハ「カサブタ」ノ音轉ナリ。

○面様ヲつらつきトイフ。源語若紫ノ卷ニ「つらつきふくらう」トアリ。

○人稱複數ニ用井ル「達」ヲ刈羽ニテハだらトイフ。

○黒子ヲはらくそトイフハ、宇治拾遺物語ニ「腰のはたにははくそとらふもの」云云「アアルははくそノ轉ナリ。

○戰ヲあかざれ又ハあかざりトイフ。釋名ニ「寒もわたりて手足の膚やふれ赤くして切れたるが如くなるなり。されどかりと通ず」トアリ。

○踵ヲあくど又ハあくトイフハ「足凹處」ノ意ナルヘシ。

○痲子(汗ニヨリテ肌ニ生ズル小サキ瘡)ヲあせもトイフハ「汗疣」ノ約轉カ。

○體ニ比シテ頭ノ大ナルヲ「あたまがいち」トイフハ頭勝ノ意カ。

- 同伴者ヲわいばらトイフハ、駕籠ヲ昇ク先肩ト後肩トノ伴ニテ相捧ノ意ナルヘシ。
- 遊民ヲこくのぶトイフハ「穀潰シ」ニテ徒ラニ食ヲ減ズル意ナラン。
- 弟ヲ二郎、まやて、(按ズルニ舍弟ノ意ナラン。コレ東瀛ノ方言ナリ)れぢ、いぢナドイフ。尊稱ニハれつさ、れつさまナリ。
- 戸主ヲごて(東瀛)トイフハ、御亭ノ義ナルヘシ。
- 人ノ妻ヲごりよん(重ニ小寺ノ主婦ヲイフ)トイフハ御寮又ハ御料人ノ義ニシテ、近古ノ雅言ナリ。佐渡相川ニテハれかた、又ハトやうらうさん(上臈様カ)トイヒ、一般ニハねくさま又ハごーんぞ(御寮所カ)トイフ。
- 小兒をわか又ハばぼつこトイフ。わかハ赤子ノ義。ばぼつこ又ハばこトハ「弱子」ノ轉訛ナリトイフ人アレドモ、コレハ小兒ヲ「バウ」トイフヨリ重リタル語ナルヘシ。
- 乞食ヲくわんどん又ハはいたうトイフ。くわんどんハ堂塔、佛像ナド建立修葺等ノ爲ニ、普ク信者ヲ勸メテ、錢物ヲ進ラセシムルコトニテ勸進ヨリ轉ジタル語ナリトイフ。はいたうハ「陪堂」ノ領米ヲ副フル僧ナリトアル人ハイヘレド壽詞言ヒツ、人家ニ立チテ物ヲ乞フヨリイフトゾ。(和名抄ニ「乞兒ヲ保加比比斗、加多井トアリ」)
- 新保正與曰ハク。佐渡ノ人ハはいどヲ布衣徒ナリトイヘリ。皆イミジキ附會ナリ。はいどハ「外人」ナリトイフ説的當ヲ覺ユ。

- 偏旨ヲめつこ又ハめつかちトイフハ眼偏ノ音便轉カ。
- 奴僕ヲわかいしうトイフハ「若者衆」ノ義ナラン。
- 方外ナルモノヲだらうトイフハ墮落ノ轉語ナルヘシ。又よたトテ其子ヲバよたどナドイフコトアリ。
- 童子ヲのんかん又ハどんどん(イトイトノ轉)トイフ。コレ佐渡ノ方言ナリ。津川近傍ニハだばらやらうトイヒ或ハちびトイフ處モアリ。
- 女兒ヲびこ、又ハさまさん(尊稱)トイヒ、之ヲ罵ルトキハ一般ニばちトモばてトモイフ。
- 女子ノ丁年ヲ踰エテ未ダ嫁セザルモノヲあばトイフ。コレ叔母ノ轉ゼシナラン。
- 十二三歳ノ男子ヲすべつこトイフ。すべハ半髪ノ額ヲ睨ル名ナレバ滑ノ意カ。スヘテすべト呼フハ人ヲ卑シメタル稱ナリ。
- 人ヲ罵詈スルニべらばら又ハ馬鹿野郎トイフハ通例ナルガ如シ。
- 附ケテイフ。人ヲ罵ルニ男ヲバ坊主、女ヲバ尼若クハ尼めト呼フコト一般ニワタルヤウナリ。又どま、(天刑病者)こつまめ、(乞食奴)がま、(餓鬼)ちさーやう、(畜生ノ誤ナリ)カクイフハ佐渡ノミナラン。ワガ村ナドニハちくーやうトイフ。)どんつく、どんま、ばんつく、へんなー、へんどこ、ぐづ、ナトイフコトモアリ。
- 多辨ノ人ヲさべくり又ハさべちやうトイフ。

- 同輩ヲてて(魚沼)トイフハ下等社會ニ限レルニ似タリ。(てハ五分五分ノ義。てハ人ノ意ナリトイフ説アレトモ牽強附會トルニ足ラス)又モトモ呼ブ。
- 我ヲねらトイフ。(又我等ヲねいらトイフハ已等ノ轉訛ナルヘシ。)
- 汝ヲねみトイフハコレヲ御身ノ義トスレバ崇敬辭ノヤウナレドモ習俗ニテハ全ク之ニ反スルモノノ如シ。蓋シ價値ノ低クナレルニテ貴様ノ類ナリ。
- 大工ヲばつちやうトイフハ番匠ノ轉訛ナラン。
- 啞子ヲねち、(西蒲其他)とろ、(佐渡相川)あつば(北蒲)トイフ。
- 不潔ノ人ヲまやうたれ、(鹽垂ナルヘシ。佐渡相川ニテハまみたれト呼ブ。)又ハだだトイフ。
- 尊大ナル人ヲねはふうトイフハ大風ノ義ナルヘシ。或ハ大腑ノ義カ。
- 懶惰ノ人ヲせやみこき、まやみこき、(北蒲)のみこき、(蠶ノ意カ)道具にならぬ奴、(南蒲)だをもの(相川)とをずり(中魚)トイフ。
- 優柔不斷ノ人ヲふのけ又ハのげくざト呼ブ。(中頸城ニテハよたトイヒ、南魚沼ニテハばんくざトモへんなしトモイフ。)
- 小兒ノ慄悍ニシテ人言ニ從ハザルモノヲ、やけ、やんちや、ぐあなやつ、(愚ナル奴ノ意カ)きかんばら、(聽カノ坊カ)あまされ、なまつけな、あくされナドイフ。
- 他人ヲ指シテに、いしや、(東蒲)のしナドイフハ皆「ヌシ」ノ轉語ナルヘシ。又たいちやう、たいし

- やうトイフコトモアリ。但シコハ平交ノ人ニ限ル。
- 貴人下輩ニ對シテ汝トイフコトヲうんや(佐渡)ト呼ブモにノ轉ナラン。中頸城郡針村近傍ニテハわあトイフヨシ。コレハ西京邊ニわれトイフニ同ジ。蓋シ上古人ニ對シテ「ワギミ」ノ語ヲ用井タル約語ナランカ。
- 御前トイフコトヲこんさん又ハこあさんト呼ブハ「コナタサマ」ノ略語ナルヘシ。
- 小兒母ヲ呼ブニンめいトイフハ母ノ乳甘キ故ナラン。
- 父僧(寺院ノ小兒等父ヲ呼ブ時)ヲねでさんトイヒ、ソノ母ヲねたさんトイフ。コレ中頸城ノ方言ナリ。
- 本家ヲねはや(大屋カ)ねもや(母屋ナリ)トイフ。コレ一般ナリ。岩船郡ニテハいやトモイフ。
- 分家ヲいへもち(家持)あたらや(新家)ーんく(新宅)たもんナトイフ。
- 親族ヲいつけトイフハ一家ノ義ナラン。或ハ姻家ノ轉カトイフ。
- 勞力ヲだちんどり、(駄賃取カ)ちやうもち、(町持カ)ひらうどり、(日料取ノ轉カ)どうとトイフ。コレ一般ナリ。北蒲ニテハわげトイフハ小揚ノ意カ。
- 魚賣ヲすけ(北蒲ニハいざばトイフ)トイフハ助郷ノ意ナルヘシ。コレハ驛路ノ夫役ノ足ラヌトキニ其邊ノ在郷ヨリ人夫ヲ助ケニ出シシヨリ轉ゼシ語ナラン。
- 男盲人ヲざとトイフハ坐頭ヨリ出デシカ。

- 女盲人ヲヒセトイフハ替者ノ義ナリ。
- 寡言者ヲねどない人トイフハ長者ノ意ナラン。
- 僧ヲ南魚ニテねつさまトイフハ和尚様ノ轉訛ナルヘシ。佐渡ニテのををさん、又ハによにょさんトイフハ佛ヲ「ノノサマ」トイフ上方ノ小兒語ヨリ轉ゼシナリ。
- 小寺ノ住職ノ長男ヲたうトやうトイフハ當住ノ意ナリ。
- 悪シキ子ヲなんくわトイフハ難化ノ義カ。
- 叔父ヲねぢぢ、叔母ヲねばぢトイフハ「御」ノ義ナリ。
- 輕躁ナル人ヲどんどき、ごそつき、どんこナトイフ。
- 才智ノアル人ヲトよさいない、(如在)はつめ、ごころ(利口)トイフ。
- 老成ノ人ヲごうーやトイフハ巧者ノ意ナリ。
- 小兒ノ差出ガマシク振舞フヲはけまめ、こべつちやく、(こべつちやく)こーやく、「コマシヤク」ノ略)トイフ。
- 盗人ヲのまど、「ヌスビト」ノ略。コレ西浦ノ方言ナリ。(によすと、にーど、)「コノニツ」ハ古志ノ方言ナリトイフ。
- 子守ヲ頸城地方ニハあや又ハたわたトイヒ、北浦ニハトよこトイフ。
- 短氣ナル人ヲさんま、いたづら、ムッたんぎも(皆中魚ノ方言)トイフ。

- 乳兒ヲややトイフハ呼ビ驚カス聲ナルヘシ。津川近傍ニハめこトイフ。
- 養子ヲいわしこトイフハ養子子ト重ネタル語ナルヘシ。
- 才子ヲけいはくの人トイフハ輕薄ノ意ニテ活潑ト疎暴トヲ誤ル類ナラン。
- 行商ヲたべとトイフハ旅人ノ略轉ナラン。
- 田植男ヲとを(田人ノ轉カ)トイヒ、田植女ヲとをどめ(とをどめ)ノ轉)トイフ。
- 野菜魚類ヲ籠ニ入レテ賣リアルク商人ヲばてふりトイフ。
- 眉ヲまみげトイフハ「目ノ毛」ノ義ナラン。(中古ノ物語文ニ目ヲ多クまみト書ケリ)又岩船郡ニテハかうのけ(上ノ毛)ノ音便カ)トイヒ、三嶋郡南部ニテハまみやトイフ。
- 膝ヲふざ又ハひざかふトイフ。コノふヲ附加シタハ其形無著ニ類似スル所アル故ナランカ。
- 尻ヲまつべたトイフハ尻邊ノ義ナランカ。又けつとモげ、或ハすす(ニツトモ津川ノ方言)トモイフ。
- 痘痕ヲいもく(西浦)、もんぞう、ぐぢや(中頸城)ねぐ(魚沼)トやと、トやんか(東浦)トイフ。
- 大便(通語クツ)ヲばばわ(魚沼)あつば、うんこ、いんこ、ねんぼう、ねそトイフ。
- 小便ヲまよんべんトイフ。(小兒語ニまよ、若シクハまおトイフハ中古ノまどノ轉カ)又よつばれトイフハ「夜イバリ」ニテハ助辭ナルヘシ。
- 騙ナレバヒキナレ姦ヒキナレヲつのもたせトイフハ筒爲持ノ義ニテ善ク轉ブニ取レリトイフ。



○頸窩ヲぼんのくだま、ぼんのくだ、ぶんのくだ、なドイフハミナ「盆ノ窪」ノ轉ナルヘシ。

○舌ヲべろ、(東浦)へち、(三嶋)トイフ。(勇吉曰ハク西浦原ニテハ丈長キ人ヲべろト呼ブ。按ズルニ東浦ノ方言べろハ「舌ヲべろりト出ス」ナドイフ副詞ヨリ轉ゼシモノナルヘシ。)

○蹠ツツヲくるみ、くるぼり、くるぶしナドイフ。

○胴ヲ三嶋ニテをちやうトイフハ胴張ノ意カ。

○尾ヲ一つばトイフハ尻尾ノ轉語ナラン。

○南魚ニテいばつつつつトイフハ面ヲ隈ラシテ小言ヲイフ人ノ形容ナリ。

○聾ソウヲさんか、(一般)又ハころ(佐渡)トイフ。

○領(和名オトガヒ)ヲあぶトイフハ「アギト」ノ約ナリ。

○稚兒ノ泣面ヲべそトイフ。(又べそをそるト活用シテイフコトアリ。)

○轔齒(和名オンハ)ヲそつばトイフハ「反齒」ノ轉。コレハ全國ニ涉レル語ナリ。

○菩提寺ノ住持ヲ御師匠トイフ。

○弱者ヲやくざ(上方ノ「ヤクタイ」ナリ)又ハごたトイフ。

○晏眠者ヲねばら、又ハねばららトイフハ寢坊ノ意ナルヘシ。

○懷イヲばつば(ホホハ含ム意)トイフ。

○權妻ヲござはヘトイフハ臥床ヲ扱フ意ナリ。

○嗣子ヲかかりごトイフ。かりハ依頼ノ意ナラン。

○風邪ヲがいさ(咳氣)又ハ活用シテウトける(ウトけるハかじくノ訛ニテ畏寒ノ義ナリ。)トイフ。

○乾物屋ヲあいもれれ(「アイノ物」ノ意トイフ)トイフ。

○老人ヲトやま(祖父様ノ轉カ)トいや、ナトイフ。

○桶匠ヲ南浦下田邊ニたがどんトイフハ「箱屋殿」ノ略轉カ。

○泣顔ヲトふめんトイフハ澁面ニテ不満足ノ時意ノ澁リ居ル顔色ナリ。又はいづづ、ぶぶちやうちらら(佛頂面)ベベツツをナトイフ。

| 雅語若シクハ通語 | 方言     | 使用地 | 雅語若シクハ通語 | 方言                        | 使用地 |
|----------|--------|-----|----------|---------------------------|-----|
| 乳母       | んば     |     | 寡婦       | やごめ                       |     |
| 胎(コムラ)   | コブラ    |     | 滑稽者      | なまつけな <small>い</small> もの |     |
| 彼奴       | あむつ    |     | 指        | いび又ハよび                    | 刈羽  |
| 嫁        | あね又ハめん | 魚沼  | 小兒ノ足     | あこ                        | 西南浦 |
| 額        | ひたひぐち  |     | 夫婦       | めつと                       | 北浦  |
| 頑固ナル人    | かたもつこ  |     | 跛者       | びつこ                       |     |

|         |            |    |        |            |     |
|---------|------------|----|--------|------------|-----|
| 井ザリ     | ずりばう       |    | 無智ノ人   | あがッべた      | 中頭  |
| 慾深キ小兒   | めらづか       |    | 下婢     | ねんなご       |     |
| 後妻      | ごけ         |    | 類      | はッべた       |     |
| 唇       | くちびら       |    | 咳吐     | せつき        |     |
| 咳噓(サクリ) | しゃっくり      |    | 噓(クサメ) | はくーやん      |     |
| 賤兒      | あこ又ハヤコ     | 北蒲 | 瘤      | こぼ         |     |
| 妹       | ねば、ねつば、あば  |    | 耳      | ミーミ        | 中魚  |
| 愚人      | ふうら        | 魚沼 | 暴人     | やちや又ハぐわい   |     |
| 不活潑ナル人  | まてな人又ハもうてな |    | 裸體     | ぼち又ハばんぼん   | 南西蒲 |
| 縁付カザル人  | かかりと       |    | 料理人    | 勝手師        |     |
| 淫奔ナル人   | よくかー       | 古志 | 中指     | なかなりよび     | 古志  |
| 筋肉      | しす         | 古志 | 丁稚     | けんさい又ハでー   | 古志  |
| 涙       | なご         | 中魚 | 臆病者    | かがなき又ハせくされ |     |
| 男按摩     | せんせい       | 佐渡 | 體      | い          | 上越  |
| 無神經     | ヘッとうがない    |    | 强悍ナル婦人 | はめ又ハ男なつ    |     |

|       |            |     |         |                |    |
|-------|------------|-----|---------|----------------|----|
| 老婆    | うばさ        |     | 情婦      | つけめ            |    |
| 放屁    | ねなら        |     | 癩病者     | ちうごううき         |    |
| 鼻汁    | ごどばな又ハごうばな | 西蒲  | 客齋ナル人   | ねつばいくそ         | 西蒲 |
| 牙     | きんば        |     | 足       | あーぼこ           |    |
| 隠居ノ老母 | ののさん       |     | 醉漢      | よひたんべ又ハごんだぐれ   |    |
| 紺屋    | こをや        |     | 吃(コドモリ) | ごもり            |    |
| 津液    | よだれ又ハよづ    | 南西蒲 | 類人      | ごす又ハなりんぼ       |    |
| 俳優    | いばやよん      |     | 堵博師     | ばくちうち、又ハだうらくもん |    |
| 娼妓    | 子供衆又ハ商賣人   |     | 禿頭      | はげ又ハやくわん       |    |
| 小便    | ばり         |     | 汝       | んが又ハラぬ         |    |

(丙) 動物門

○帖鹽(コメムシ)トイフ。和名抄云穀米中小黒蟲也。和名與云云トアリ。よなむーハよねむート相通ズ。  
 ○蟬蛇(ウハバミ)ヲやまかガトイフハ万葉ニ「夜万加々地」トアルチノシニ轉ジタルナルヘシ。  
 因ニイフ。南留別志ニ「蟬ヲうはばみ、蝮ヲくちはみトイフ。はみハへみナリ。へみハへびナリ。うはハ大ナリ。くちはみハ赤口黒口トテ二種アリ云云」トアリ。

○刀鴨(コガモ)ヲあぢ又ハたかぶトイフ。あぢハ味鴨ノ略。たかぶ古言ハたかベナリ。和名鈔云似鴨小背上有文多加又古哥ニ「見る人の沖津あら浪うとけれむむとなれぬるを」たかべかも」トアルニテ知ルヘシ。

○燕ヲつばくらトイフハ古語ノ「ツバクラメ」ノ轉ナルヘシ。

○比目魚ノ小ナルヲこつぺらトイフハ「コビラメ」ノ義ナラン。

○蟹ヲねこトイフハ蟹ノ尊稱ナリ。(かひこハ「養ヒ蟹」ノ義)北魚ニハ之ヲほこトイフ。

○蛙ヲがへる、がいち、げいく(北浦)びっさ(岩窟)ざやわ(西頸)トイフ。又蛙孫ヲがへるまト呼ブハ蛙孫ノ義カ。中頸城邊ニハコレヲねばこトイヒ、西浦ニテハがいちまトイヒ、中浦ニテハがいちまちやうトイフ。(黒蛙ヲくそがへる、黄蛙ヲあまんぎやくトイフハ通例ナルニ似タリ。)

○蝸牛ヲだいらう(臺浪ノ義)ニテソノ虫ノヤドル處、波渦狀ニ取ルトイフ説アレドモ從フ可カラズ。)

又ハかさつふれトイフ。

○蛭ヲへり又ハへるトイフハ一般ナルガ如シ(三嶋ニテハへちこト呼ブ)

○小魚ヲさつこトイフハ雜喉ノ意ナルヘシ。

○魚ヲととト呼ブハ韃靼語ナリトゾ。又北浦ニテねばトイフハ魚ノ轉訛ナルヘシ。コノ他はヤトモセセトモイフ處アリ。

○蚯蚓ヲトみ或ハめめすトイフ。

○鮭ヲぬよ又ハゆらトイフハ「魚」ノ轉語ナラン。コレ鮭ハ水産物ノ主ナルモノナレバナリ。

○鳥ヲとと(北浦)とと(西浦)トイフハ鳥ノ轉語ナラン。

○田螺ヲつふトイフ。(北浦ニテハコノ細小ナルヲびんのトト呼ブ。)按ズルニ和名鈔ニ田つびト書ケレバつふハコレヨリ轉ゼシナラン。

○狼ヲねはいんトイフハ大犬ノ義ヨリ出デシカ。

○機械蟲ヲたいこたきトイフハ其聲ヲ以テ名ケタルカ。

○蟪郎ヲいぼむ(北浦)かまいだち、(中頸)くわんのんむし(中魚)トイフ。

○草木ヲ害スル小蟲ニくね、ねきりトイフアリ。

○土中ニ生スル小蟲ニこごこトイフアリ。

○子鰯ヲ藁ニテツナグモノヲれんばしトイフハ「聯乾」ノ意カ。

○鳥ノ毛冠ヲとつつかトイフハ「トカサ」ノ轉訛ナルヘシ。

○女犬ヲめつち(五泉地方)めた(西浦)めちや(南浦)トイフ。

○狐ヲさつトイフ。(古哥ニ「聞く人のさのめと聞けば夜を寒みなくなるさつをわはれとぞさく」トアリ。)

○馬ノ子ヲたうねトイフハ當年ノ意カ。又をのトイフハ「牡ノ子」ノ略ナルヘシ。

○鱒(なよ)ハ此魚ノ惣名ナリ。世ニばつトイフ。即古語ノ口女ヲいなだ又ハいなトイフハ雅言イ

ブナノ略轉ナルヘシ。アル説ニいなハ稻ノ莖クサレテ魚トナルトイヘレド從フ可ナラズ。  
 ○方頭魚(カナガシラ)ヲ刈羽ニテハいぢんこうトイヒ、西頸城ニテハいぢみトイフ。  
 ○蝙蝠ヲかうもりトイフハ南留別志ニ圖守ナルヘシト説ケレド蚊屠ノ轉カトモイフ。(釋名ニハ蚊欲ナリトイヘリ。)

| 雅言若シクハ通語 | 方言         | 使用地 | 雅言若シクハ通語 | 方言       | 使用地 |
|----------|------------|-----|----------|----------|-----|
| 鼯鼠       | むぐらもち      |     | 鼠        | かごめ      |     |
| 鼯(ヒシコ)   | ほしこ        |     | 鱧(ジガバチ)  | がめばち     |     |
| ムジナ      | ももち或ハむいな   |     | 蛇        | せび       | 岩船  |
| 猫        | ちよこ        | 北浦  | 雞        | ひよっこ     |     |
| 蟻        | ありご        |     | 鶺鴒       | みそづけ     | 北浦  |
| 鮫ノ胎生     | でりっこ       |     | 小サキ鱈     | まけどら     |     |
| 鵝領       | いくあぎ       |     | 鱈ノ子      | やまばえ     | 北浦  |
| 丁斑魚(メダカ) | うるめ又ハうるめ   |     | 大ナル蝦     | つのがら     | 北浦  |
| 蝶        | べと又ハべつたう   | 北浦  | 蠶魚       | むしびー又ハはく |     |
| 水中ノ虫     | あらまら又ハたむかせ | 上越  | 蛆        | さるうと     |     |
| 麵        | とどまめ       |     | ニシンノ鹽漬   | にし       |     |

|           |        |    |          |          |    |
|-----------|--------|----|----------|----------|----|
| 獺         | かわま    |    | 龜        | がめ       | 古志 |
| 蟹         | がに     |    | 馬        | んま又ハま    | 西頸 |
| 蝸         | づいと    | 魚沼 | 鳥糞       | けいー      |    |
| 蜈蚣        | のかせ    |    | エモリ      | よもれ      |    |
| カナヘビ      | かなぎッちよ |    | 魚ノ骨      | とぎ又ハどげ   |    |
| 鱗         | こけと    |    | 鱧鮎       | げちげち     |    |
| 蜘蛛        | くば又ハくぶ |    | 魴鮒       | きみゆ又ハきみよ |    |
| 雞         | けいこ    | 佐渡 | 蛛蟻(クモノス) | やと       | 西浦 |
| 菖雀(アラシトト) | あをト    | 西浦 | 秋沙       | あいさ      |    |
| 烏骨雞       | をけつこう  |    | 鳶        | とんび      |    |
| 蜻蛉        | だんぼ    |    | 犬        | いんが、又ハいご |    |

(丁) 植物門

○葉ヲはつばトイフハ葉ヲ重ネタル言ナルヘシ。  
 ○葱ヲねぶかトイフハ根深ク土ニ入ル義。胡葱(ツハ助辞)ハ「淺キ葱」ノ意ニテ相對シタル名ナルヘシ。

○玉木ヲたもぎトイフハ田面木ノ意ナリ。コノ木ヨリ蠟ヲ取ル。之ヲいはたトイヒテ、木偶ノ光ヲ出スニ用井ル。

○踏(フフキ)ヲはをき(南蒲)ふらき、ふらきのまばら、(西蒲)らやんまら(西頸城山間)ナドイフ。

○馬鈴薯ヲこくいも、かうらういも、はちこくいも、かんぼういも、たんばいも、ちごくとういもナドイフ。

○車前草ヲかへるッば(北蒲)又ハちぢばトイフ。

○躑躅ヲつぎ又ハひつト(西頸城)トイフ。因ニイフ。コレニ類シタル木ニれどりはなトイフモノアリ。

○薪ノ類ヲふなぐり、なたぎり、(鉈断カ)ばえぎり、ちよっさり、びちトイフ。コレ北蒲ノ方言ナリ。

○林ノ灌木ニテヒモヤガヲフモノアリ。其實ヲやかがらノ餌ニス。(北蒲)

○春。花咲ク小サキ草ニちよらはば、つんつんつばくら、ててばばばヲフモノアリ。(北蒲)

○桑ノ實ヲくはんトイフハ「桑ノ子」ナリ又くいのちトモ呼ブ。

○大黃ヲだいろッば(西蒲)又ハうまのまのま(北蒲)へびま(上越)トモイフ。

○山澤ノ雜草ニれさんくさ、とりあし、ふなな、かくま、くご等アリ。(北蒲)

○畑ノ草ニあさらあぎ、はんくさトイフモノアリ。(北蒲)

○田ノ草ニひろも、こげ、くるまなぎ、かなむぐらヲフモノアリ。(北蒲)

○籬ナドニ生フル草ニひところばトイフモノアリ。黒キ實ヲ結ブ(北蒲)

○河邊ニ生フル草ニふたころびトイフモノアリ。毒ニテ食フヘカラス。(北蒲)

○莨類ニねすみだけ、しもだけ、くねもだけ、でつばら、のらくらーみづ、(ーみづハ「シメヂ」カ)ののめだけ、つぎよだけ、けりだけ等アリ。又某音トイフヲ「某モタセ」トモ呼ブ。

○玉蜀黍ヲたうな、たうまめ、さび、せむたのさびナドイフ。

○蠶豆ヲけつせりトイフハ其形状ヲ以テ名ヅクルカ。

○蘿摩ヲがんがらびトイフハ古語「カガミ」ノ轉訛ナルヘシ。

○蔬菜等ノ生物ヲふいんトイフハ無鹽ナリ。盛衰記ニ「無鹽ノ平茸」トアリ。

○里芋ヲいごいもトイフハ「エダ芋」ノ轉ナルヘシ。

○苔ヲこけらトイフ。藁ノ類モスヘチこけナリ。

| 雅語若シクハ通語 | 方言           | 使用地 | 雅語若シクハ通語 | 方言       | 使用地      |
|----------|--------------|-----|----------|----------|----------|
| 紅豆(ササゲ)  | ささぎ          |     | 蒜(ヒル)    | はんにく又ハに  |          |
| 人參       | ねんとん         |     | 牛蒡       | ごんばう     |          |
| 夕顔       | ゆうご又ハようご     |     | 胡桃       | くろみ又ハくるび | 西蒲<br>南蒲 |
| 李        | ももんばう又ハまごんばう |     | 蓮根       | りんこん     | 三嶋       |

|          |           |     |        |              |     |
|----------|-----------|-----|--------|--------------|-----|
| 蓮ノ實      | とばす       |     | 櫻ノ實    | さくふと         | 南蒲  |
| 榎        | よのき       |     | 菱      | ふし又ハねにふし     |     |
| 生薑       | まやうご      |     | 盆栽     | つばき          |     |
| 枇杷       | びや        |     | 稗      | へん           |     |
| 蘿蔔       | だいこ       | 西頭  | 葡萄     | ぶんど          | 西頭  |
| 大芹       | ねはせろ      |     | 紫蘇     | ちそ           | 西頭  |
| 菰        | がつば       |     | 澤瀉     | ねえ           | 北蒲  |
| 杜若       | うっこ又ハかつこう |     | カタクリノ花 | かたかご         | 北蒲  |
| 蕺(シフキ)   | どくなぎ      |     | 篠ノ子    | すすれこ、又ハめめこのこ |     |
| 柚子       | よす又ハいす    | 北西蒲 | 土華     | づきつづば        |     |
| 枳椇       | てんばな      |     | 百合     | よろ又ハより       | 北蒲  |
| 虎杖       | すか        |     | 蓮ノ若葉   | まくれ          |     |
| 團栗(ドングリ) | りだま又ハつだぐり |     | 合歡木    | ここのき         | 北蒲  |
| 蘭        | けいせん      |     | 竹ノ節    | ぎんせ          | 中蒲  |
| 杉        | まげんき      | 三嶋  | 酸漿     | はつき又ハはづけ     | 北西蒲 |

藤豆

つるまめ

南蒲

昆布

こぶ

(戊) 器用門 (家屋衣服ノ類ヲモコユニ收ム)

- 稻扱ヲせんばトイフハ、齒ノ多キヲ以テイフナラン。
- 枴アゴヲかたげばう、アルハかゝねばう(古今俳諧哥ニ「人こふることを思ひにになひもてあふをなきそ」アゴとイフハ肩揚棒ノ轉語ナラン。
- 産ヲねびヤトイフハ「ウブヤ」ノ轉訛ナリ。
- 通行船ヲあんこうトイフハ「網子船」ノ轉ナルヘシ。安康ノ意ニハアラジ。
- 扛秤イカリヲきんれうトイフハ斤量ヨリ出デタル語ナルヘシ。又中頸城ニちげト呼フハ「チギ」ノ轉ナリ。
- 筒イナヲばてトイフハ一般ナリ。中頸ニテハびくと呼ブ。
- 新保正與曰ハク。西蒲ニテびくと云フハ畚ノ形シテ糞蒞ヲイレテ馬ニ負ハシムル者ナリ。
- 煙管ノ班竹ツバヲらを(班竹ハ印度ノ中ナル羅字國ヨリ渡リシユエカク名ケタリトナン。)トイフ。
- 手桶テバヲとをけ、(佐渡新穂邊)ていけ、ちやうけ(南蒲)ナドイフ。
- 衣服(小兒語)ヲべべ又ハべトイフ。(魚沼ニテハ美シキ衣ヲちやいべんべ、北蒲ニテハへこ、佐渡ニテハばわト呼ブ。)
- 柴木ヲばえ又ハばよ(三嶋)トイフハ「萌」ノ轉ナルヘシ。南魚ニ之ヲはとらト呼ブハ葉ノアルモノニ限ルヨシナリ。

- 杖ヲつべ又ハつよのぼう(古志郡蓬平村邊)トイフ。
- 茶ノ間ヲよごぞトイフハ横坐ノ轉カ。西浦ニテハでぬトイフ。コレ出居ノ轉ナリ。西頸城ニテハねトイフ。
- 炬ヲろるんトイフハ炬縁ノ義ナランカ。西浦ニテハ大抵よろぶちトイヒ、北浦ニテハよろり、アルハよろぎ(圍炬裏ノ轉カ)トイヒ、岩船ニテハちろ(地炬カ)トイフ。
- 襦袢ヲはだっこトイフハ肌着ノ轉語ナラン。
- 襦袢ヲまみり、(コノーみハ「浸」ノ義カ)又ハもつきたトイフ。
- 袂ヲたんば、たんばこ、たもこ(以上北魚ノ方言)トイフ。
- 蒸桶ヲせいろトイフハ蒸籠ノ意ナルヘシ。
- 櫛ヲせろ又ハまいる(三嶋)すり(中魚)そろ(南浦)トイフ。
- 食器ニわつぱトイフモノアリ。コレハ木ヲ曲ゲテ作りタルモノニテ、三嶋郡地方ニハめんつ(面桶)アルハちげトイヒ、岩船ニテハめーつきたトイヒ、北浦ニテハめんば(面輪ノ義カ)トイフ。
- 割木ヲまさ、ころトイフ。中魚ニまさごつぼう、わりごつぼうト呼ブハ上野ノ詞ノウツレルナリ。
- 絹布ノ小片段ヲつぎトイフハツギアハス意ナラン。
- 刀ヲこーもんトイフハ腰物ノ義ナリ。(南浦小兒語たうたう)
- 下駄ヲぼこりトイフハ木履ノ轉語ナリ。

337324

- 物ヲ負フ下着ヲせなくわしぢ、(通信者ハ「脊ニ加フ地」ノ意ナリトイヘレド、脊中當ノ説ヲヨシトス)ばんご、ばんごり、ごぎ、ナドイフ。
- 鞆ヲいんさんぶさん、ぶらごび、ぶんがさい(刈羽)ナドイフ。
- 穀倉ナドノ戸ヲとまやトイフハ戸前ノ轉語ニシテ苦屋ニハアラジ。
- 綿子(脊ニ負フ綿モノ)ヲとっこ又ハねごトイフ。(北浦)
- 羅紗ノ雨具ヲまる、どんび、まわりどんび、くるまどんびナトイフ。
- 童女ノ髪飾ヲベッと又ハべつとらトイフハ、蝶ヲ「ベツトウ」トイフヨリ移レルナリ。
- 手巾ヲちやさん、(茶巾ニアラス)又ハめて(湯手ノ意ナラン)トイフ。
- 小サキ網ヲえなみトイフハ「江ノ網」ノ義カ。
- 俵ノロニアツルモノヲさんばい(西浦)さんだら、さつたはら、(中魚ノ方言ナリ。棧俵ノ轉ナルヘシ)ナトイフ。
- 燈ヲのうのう、(佛ヲ)ノウノウ「トイフヨリ出デタルカ」ノウノウハ南允南允ナリ。(ぶや、(コレ三嶋ノ方言ナリ。火災ヲばやトイフモ之ニ似タリ。)あかり、あかし、(蒲原地方)がい、(佐渡)ナトイフ。
- 手袋ヲてはい(中魚)トイフハ「手覆ヒ」ノ意ナラン。
- 水風呂ヲばらんばう、(三嶋)又ハだばう(小兒語)トイフ。
- 桶類ノ底ヲしつゝ(古志)トイフハ下ノ義ナルヘシ。(足ノ裏ヲモしつたトイフトゾ)。

- 新物屋ヲきトロトイフハ木城ノ意カ。
- 獨樂ヲづんぐり又ハつんぐんりトイフハ和名古末都玖利ノ轉ナルヘシ。
- 魚ヲ入ルル箱ヲきす、(南浦)なぎつ、(岩船)ナトイフ。
- 前垂ヲ前かけ又ハ前かさ(北浦)トイフ。(義經千本櫻ニ「裾ヨ前垂はやはと云云」トアルヲ、ミレバ前垂ハ通語ナルヘシ。)
- 薄縁(席類)ヲへりどり、又ハへっどりトイフ。
- 桶ヲこが(津川)トイフ。(岩船ニテこがトイフハ酒樽ノコトナリ。)
- 木柶ヲばんばこ、はげた、(羽子板ニ似タル故ナラン)けーきナトイフ。
- 印ヲはんトイフ。(南留別志ニ「花押ヲ判トイフハ判署トイフコトノアルヲトリチガヒタルナリ。判トイフハ日ヲアケオキテ後ニ書キ加フルヲイフ。署ハ今ノ名判ナリ」トアリ參看スヘシ。)
- 石碓ヲいすすトイフハ「イシウス」ノ約語ナルヘシ。
- 紙鳶ヲいかト呼び、又六角ナルヲがらむ、四角ナルヲますいかトイフ。
- 急須ヲさびーようトイフハ急尾燒ノ意ナルヘシ。
- 草履ノ類ニげんげ又新平、さうりトイフモノアリ。
- 上リ臺ヲさやたつトイフハ脚榻ノ意ナリ。
- 錠ヲさんトイフハ鎖ノ訛音ナルヘシ。(和名「ザウ」)

- 杓子ヲーやもトイフハ一般ノ女詞ナリ。又形扁タクシテ大ナルヲばっかいトイフ。
- 箒ヲなでトイフ。コレハ伯耆ト同音ナレバナリ。
- 大盆ヲへんきトイフハ「へぎ」ヨリ出デタルカ。
- 湯コボシヲさーまきトイフハ殘物ヲさーまけトイフヨリ出デタル語ナルヘシ。
- 半紙ヲ西紙、杉原ヲ糊入、雁皮ヲ竹紙トイフ。
- 屋根ノ棟ヲぐートイフハ結髪ヲ「オグシヲアグ」トイフヨリ出ツ。
- 小皿ヲてしよトイフハ「手代」<sup>テシロ</sup>ノ轉又「手鹽」<sup>テシホ</sup>トモイフ。

| 雅言若シクハ通語 | 方言      | 使用地 | 雅言若シクハ通語 | 方言       | 使用地 |
|----------|---------|-----|----------|----------|-----|
| 塘昇(ジウノウ) | せんば     |     | 整(イリナベ)  | はうるく     |     |
| 米櫃       | けーねびつ   |     | 席        | みーろ又ハもーろ |     |
| 摺木       | ねめぐり棒   |     | 乳坐(チグラ)  | つぐら      |     |
| 足駄       | あーら     |     | 雪踏       | せきら      |     |
| 筒袖       | もちり     | 岩船  | 襷        | たーこ      | 北浦  |
| 糸ノ繩      | ぐな又ハぐなわ | 佐渡  | 庖丁       | はぬちやう    |     |
| 摺鉢       | かなばち    |     | 烟管       | させろ      |     |



|           |          |    |          |            |    |
|-----------|----------|----|----------|------------|----|
| 文鏡        | けいさん     |    | 剃刀       | かんすり       |    |
| 白無垢       | しろもく     |    | 股引       | ももふき       |    |
| 裾         | そそ       |    | 紐        | ふば         | 魚沼 |
| 口ノ狭キ籠     | はげこ      |    | 苳        | ほでこ        |    |
| 藁靴        | まんべ又ハトんべ |    | 二階       | そら         | 中魚 |
| カンジキノ大ナル者 | すかり      |    | 草靴       | わらんト又ハわらっち |    |
| 漏斗        | まゆはく     |    | 香口       | じようご       |    |
| 置キ炉       | だいす      |    | 寢室       | なかま又ハうちま   | 南魚 |
| 臺處        | 水盤       | 南魚 | 稻背負      | やせ馬        |    |
| 元結        | より       |    | 坐敷       | トやーき       | 古志 |
| 檜杓        | ふーやく     |    | 袷天       | はんちやう      |    |
| 烟草入       | づんざり     |    | 枕        | あてがい       |    |
| ヘコ帯       | さんトやく    |    | 勒肚(ハラマキ) | あてんこ       |    |
| 縹縷        | ふいとう又ハぼろ |    | スベテノ繪ノ具  | べん         |    |
| 掛軸        | かけ物又ハウタト |    | 灰ナラシ     | あなべら       |    |

|     |      |    |          |            |    |
|-----|------|----|----------|------------|----|
| 稻子棒 | つくー  |    | 塵取       | いぼ         | 岩船 |
| 鋸   | のこずり |    | 釣糸       | やめ         | 岩船 |
| 小刀  | さざり  | 岩船 | 茶釜       | ちやまが       |    |
| 鉋   | ほをトや |    | 白器(オモガヒ) | ねもりがひ      | 刈羽 |
| 炭   | ぼて   | 佐渡 | 皿        | てんころ       |    |
| 扇   | せんすい | 古志 | 磁石       | ぎーやく       |    |
| 蓆   | したみ  |    | 蠟燭       | だうさく       | 西蒲 |
| 衾   | れくび  |    | 春慶       | いもんけんぬり    |    |
| 火箸  | へばー  | 魚沼 | 鹽        | はんざり又ハはんざれ |    |
| 衣服  | きもん  |    | 五舛瓶      | はんぞがめ      |    |

(巳) 飲食門

○間食ヲこびるトイフハ小晝ノ義ニテ晝飯ヲ單ニ晝トイフヨリ出ツ。又こわんぐちトモイフハ未タ考ヘス。

○澤庵漬ヲこうこうトイフハ「香ノ物」トイフ意ナリ。

○小サク切リタル餅ヲあなれトイフハ其形電ニ似タルヲ以テソレヨリ轉ゼルナラン。

- 雑炊ヲみそづ、ねどせ、さうせい、ねトヤナトイフ。
- 焼餅ヲ中魚ニテあんぶ(アブル)ヨリ出デシナラン(又ハちやのこトイフ。  
新保正與曰ハクあむあんもトイフハ都ノ女子ノ詞ナリ。
- 食菜ヲさい、ねかす、かてもん、(和物ノ意カ)はーやすみナトイフ。
- 鰯ヲ子鳥賊トイフ。
- 餅ヲいただき、又ハ御供ヘトイヒ、大ナルヲふくでトイフ。
- 飯ヲまんまトイフハ「甘甘」ノ轉語ナルヘシ。
- 香ヲにいトイフハ「ニホヒ」ノ畧轉ナルヘシ。
- 朝飯ヲ食フコトヲ魚沼郡ニテハちやをのむトイフ。關東ニモ此語アルヨシナリ。蓋シ餅ノ類ヲ「茶ノ子」トイフヨリ起レルカ。
- 水(小兒語)ヲむら又ハんぼラトイフハ「甘シ」ノ轉語ナルヘシ。
- 烟草ヲたぶこ、(西蒲)又ハたばさ(北魚)トイフ。(小兒語ニばッバトイフハ一般ニワタルヤウナリ。)
- 湯ヲよんづ(北蒲)トイフハ湯水ノ音便ナルヘシ。
- 他國ノ鹽引錠ヲわトトイヒ、自國ノ産ヲ本川トイフ。
- 汁ヲねつけ、ねつめ、をみをつけナドイフ。
- 薬味ヲウやくトイフハ加薬ナリ。

○ 牡丹餅ヲかいもち、をばぎ、でこむナドイフ。

| 雅言若シクハ通語 | 方言  | 使用地 | 雅言若シクハ通語 | 方言         | 使用地 |
|----------|-----|-----|----------|------------|-----|
| 藥        | くそり |     | 粥        | かい         |     |
| 粽        | つまさ |     | 堅餅       | かけもち又ハかさもち |     |
| 味噌       | まぢ  | 東蒲  | ヌタ(酢味噌)  | のた         |     |

(庚) 雑門

- 態ワザトヲやくどラトイフ。枕草紙ニやくどとしてトイフ詞ノ註ニ「役どいてトアルハ「ワザト」トイフニ通フナルヘシ」トイヘルコレナリ。此語北魚ニねななトイフモ「オフナオフナ」トイフ雅言ヨリ出ツ。
- 久シキ間トイフコトヲよつばトイフハ羽後ノ方言よつばるか(世遙カトイフ意カ)ニ似タリ。サレド此語ヲ飽キタルコトニモ用弁レバ「善腹」ノ義ニモ通フナルヘシ。
- 跡方モナキヲせッベつもないトイフハ「塗轍モナキ」義カ。
- 人ヲ笑フ時ニわかあかトイフハ「アアア」ノ轉訛ナルヘシ。
- 趣向ヲねらはくトイフハ「思フ」ヲ延ヘタル語ナルヘシ狭衣ニ「うたれト」用意一たるままひねらばくどもも各ねのー」トアツ。
- 必スヲぢやらしきトイフハ定式ノ意ナラン。

- ウツタヘニヲせんざらトイフハ「マザマザ」ノ轉カ。(下ニ否決ノ語ヲ用井ル。)
- 遂ニヲつひ、つまるゝところ、さうではやナドイフ。
- 結局ヲあげくトイフハ擧句(連哥ノ下ノ句)ノ轉ナルヘシ。
- 淡泊ヲあつさりトイフハ淺有ノ意カ。
- 風証ヲあてこせりトイフハ當擦ノ意ナルヘシ。
- ソレト充テテ頼ミトスルコトヲあてこせトイフハ當事ノ義ナラン。
- 大抵ヲあらうとトイフハ粗方ノ意カ。
- 一時ヲいつくわトイフハ一花ノ音ナリトゾ。
- 仔細ヲいわくトイフハ「音フ」ノ延語「イハク」ノ轉ナラン。
- 副詞ニこつてりトイフハ濃厚ノ義カ。コレハ厭フヘク多キコトニテ例ヘハ「こつてり」と白粉を塗る「トイフカ如シ。
- 刷毛ヲさういさトイフハ「月代」ノ訛ナリ。
- 粗略又ハ無禮ナルコトヲぞんざいトイフハ「存在」ノ意カトイフ。
- 無益ヲだめトイフハ徒目ノ略カ。又まやさらトモイフ處アリ。
- 一向ニ副詞ヲねっかどトイフハ「根自」ノ義ナリトゾ。
- 暢氣ナルヲのんきトイフハ「延氣」ノ音便ナリ。

- 遲鈍ナルヲのろまトイフハ間ノノロキヲイヘル語カ。
  - 猪突(理非ノ分別ナク)ヲむてつばふトイフハ無手法ノ意ナリトゾ。
  - 安リニヲやたどトイフハ樂ニやたら拍子アリ。ソレヨリ起レル語ナリトゾ。
  - アノヤウニ、コノヤウニトイフコトヲあんが、こんが、あんな、こんな、あんなつら、こんなつら、(アノ列、コノ列ノ轉訛ナルヘシ。)ナトイフ。
  - 何故ヲなんーにりぬトイフハ「ナニシカ」ノ轉語ナルヘシ。
  - 度々ヲさいさいトイフハ再再ノ義カ。
  - 然リヲさうさうトイフハ「シカ」ノ反切サノ重リタル音便ナリ。
  - 漸クヲやつとトイフハ「ヤウヤウト」ノ略語ナラン。又やつどこをつどこトイフ處モアリ。
  - 今後ヲこんだトイフハ、今度ノ轉訛ナルヘシ。
  - 助けニナルヲたしよなるナトイフたし「足シ」ノ義ナラン。
  - 近傍ヲちうまトイフハ近間ノ義ナラン。
  - 其物ヲそいつトイフハ「其奴」ノ轉語ナルヘシ。
  - センスベナキ時ニにちもかちもトイフハ「兎テモ角テモ」ノ轉語ナラン。
- 新保正與曰ハク關東ニテにちもさちもトイフハ「二ニテモ三ニテモ」ノ意ナラン。マタ二進三進カ。

- 戲謔ヲねぢけトイフハ大解ノ意ナランカ。又古志山間ニテハひやうひやくアルハはんどくトイヒ、西頸城ニテハちやうトイフ。
- 速ニヲちやッちや又ハさつさトイフハ早々ノ轉訛カ。
- 丁寧反覆ヲねんぢりトイフハ。念取ノ義カ。或ハ「根問ヒ」ノ意ナリトモイフ。
- 嘘ヲこッだトイフハ誤多ノ意カ。
- 人ノ已レノ家ヨリ出テ行ク時ニねんちう御出なさいトイフ御ちうハ「御道善ウ」ノ轉語ナルヘシ。
- 甚シクトイフ副詞ヲでかう又ハいかうトイフハ「嚴重」ノ轉訛ナルヘシ。或ハ「痛ク」カトモイフ。
- 魚沼郡山間ニテハまゆぢ若シクハいつつやゑトイフ冠辞ヲ用井ル所アリ。コレハイカナル詞ニモミナ其冒頭ニ用井ルヨシナレトモ、イカナル意味ナルカ未タ考ヘス。
- のつたにトイフ詞モナベテ使用スルモノノ如シ。例ヘハかつたにはやノ類ニテ其語氣「實ニ」ニ近シ。コレハ一偏ノ意ナルヘシ。
- 然ルニトイフ詞ヲどころてんがナドイフコトアリ。コレハ「所トイフモノガ」ノ約ナラン。
- 「更ニ」トイフ語ヲさつぱりトイフ。コレ一般ナリ。東浦ニテハたゞざりトイフ。コレ「絶エ断リ」ナレバ、カヘリテ雅言ノ「絶えて」ニ近シ。
- 眞直ヲちやんど又ハさんさん(コレハ小兒語)トイフ。
- 家内ヲやぶちトイフハ「家内」ノ轉語ナルヘシ。

- 「甚ダ」ヲばかげにトイフハ「馬鹿氣」ニテ極端ナルヲイフニ限ル。
- 半間ヲ(間數ノ稱呼)中頸城ニテハまなかとイフ。例ヘハ三間半ヲ三間まなうトイフカ如シ。蓋シ間半ノ義ナラン。
- 氷上ヲ渡ルラーんばちトイフハ「シミワタリ」ノ義ナルヘシ。
- 雅言ノなまどひヲなまどげ(中頸)トイフ。例ヘハなまどげのこといふなナド制止言ノ上ニ冒ラスカ如シ。
- 暗キ處ヲくらさま又ハくらすトイフハ暗隅ノ轉語ナリ。
- 晝眠ヲひらすみトイフハ「晝休ミ」ノ約語ナラン。
- 充分ニ食ヒシモノニ又モ強ヒテ食ハスコトヲれたちトイフハ立際ノ意ナルヘシ。
- 鬼遊ヲめいのちトイヒ、此遊戯中自ラ休ム時ハごい(コレ三嶋郡ノ方言ナリ。西浦ニテよれトイフハ「ユルサレ」ノ轉ナルヘシ。)ト稱シ、幼少ニシテ直チニ鬼トナルニ堪ヘザルモノヲバわばトイフ。
- 大言ヲはらトイフハ法螺ノ義カ。
- 惘悞ヲぞらッぱりトイフハ情張ノ義ナルヘシ。
- 行爲ノ檢束ナキヲまだふないトイフまだらハ「爲タラク」ノ略ニテ「体タラク」ナトイフニ同シ。
- 量ヲ定メテ業ヲトルヲわつぱくトイフハ「割リ配バリ」ノ義ナルヘシ。
- 興味ヲげトイフ。例ヘハげさめて、「藝醒メテ」ノ意カ。(げなき、(驗無)トイフガ如シ。

- 裏ヲ北蒲ニテけちやまトイフハ「返シ様」ノ轉カ。
- 等ヲなんのトイフ。例へハ私なんのトイフガ如シ。
- 「然ラバ」ヲそんなら、それだ、はちや、(中魚)すつぢや(南魚)トイフ。
- 日數ヲひにちトイフハ日ヲ一ハ訓讀、一ハ音讀ニセシナルヘシ。
- 必ズヲ中魚ニぢやうや又ハぢやうかトイフハ蓋シ詭ノ義ナルヘシ。
- 「共ニ」ヲかたッテ(南魚)トイフコトアリ。例へハかたッテ行くノ如シ。
- 農家ニトやうばんげトテ休業スルコトアリ。コレハ「トやう場揚」。(トやうハ碓ノ類)ノ意ナルヘシ。
- 農家ノ子弟酒宴ヲナスヲ、かくせつ、トイフハ隠節ノ略カ。
- 「僅ニ」ヲたッた又ハたんだトイフハイヅレモ「タダ」ノ轉ナルヘシ。
- カヘテ食ヲアさいしんトイフハ再進カ。
- 漢語ノ猶ヲまつとトイフハ「今チト」ノ約ナラン。
- 「猶更」ヲなうこと、まうの、(三嶋)あとか(西蒲)ナトイフ。
- 色事ヲなまつけなれこと、又ハづべつこないことトイフ。
- 人並ヲ一ちやうまへトイフハ一丁前ノ意ナランカ。
- 「稀ニ」ヲたまにトイフハ「タマサカニ」ノ畧ナルヘシ。
- 謀ヲぐめんトイフハ工面ノ意カ。

- 共有物ヲよりわひもんトイフハ寄合物ノ義ナリ。
- 「元來」ヲせつたい、せめていトイフハ一体ノ轉ニテいヲせト發音スルハ奥羽ニ接スル地方ニ限レリ。又全体ノ轉訛カトモイフ。
- 他ニ對シテ情愛ヲ捨ツルコトヲわいそづカトイフハ愛想盡ノ意ナルヘシ。
- 強慾ヲ西頸城ニテむよくトイフハ「強慾ハ無慾ニ似タリ」トイヘル古語ヨリ出テタルカ。
- 晝飯持參ヲいちぢびるトイフハ、一度晝ノ義ナルヘシ。
- 曆ニ半夏トアルヲ古志蓬平村邊ニテハはげんトイフ。
- 數詞ノ中九ツヲここねト呼フ處アリ。
- 「然レドモ」ヲ西頸城山間ニテけんせトイフハ「ケレドモ」ノ轉ナルヘシ。佐渡ニテけをもトイフモ同ジ。又それだッてもトイフハ一般ニワタル語ナリ。
- 「少シモ」ヲむつり(西蒲)むつきと(佐渡)トイフ。
- 「一日モ二日モ」トイフヘキ處ヲ佐渡ニテハひーてもふつりもトイフ。
- 「決して」トイフ詞ヲとたい、すゝい、(中魚)だッゝい(大体カ)ナトイフ。
- 様(尊稱)ヲさ、又ハそん(新潟)トイフ。
- 送別ヲわぐとかれ、わぐわくれ、わぐわれナトイフハ飲食ヨリ出テタル詞ナラン。
- 「ソレト共ニ」岩船ニテハまつら、(交カ)又ハがらみ(包)ノ意ナラントイフ。

- 北浦ニテ一束、二束ノ束ヲつく又ハまくトイフ。
- 「既ニ」ヲとをにトイフハ「夙クニ」ノ轉ナリ。
- 無理ヲやばラトイフハ野暴ノ意ナルヘシ。又やからトモイフ。
- 姿ヲふりトイフハ「風」ノ義ナリ。
- 傳言ヲことづけトイフハ「言傳」ノ轉ナリ。
- べらべらトイフ詞アリ。コレハ「メラメラ」ノ轉語ナルヘシ。竹取物語ニ「藁ハ火にくべてやきたりしかばめめとどやけにーかば」トアルコレナリ。
- 「何ハ兎モアレ」ヲなんでもかんでも、(一般)又ハなんぶなんだて(岩船)トイフ。
- 人ヲ罵ル辞ニシテ、めトイフコトアリ。例ヘバ「畜生め」、「盗人め」ノ如シ。コレニ二説アリ。一ハ伊勢貞丈氏ノ説ニシテ、曰ハクベトめトハ相通ノ音ニシテ漢字ノ「部」ニ當ル。即「畜生ノ部類ヨ」、「盗人ノ部類ヨ」ノ意ナリ。一ハ濱田健二郎氏ノ説ナリ。曰ハク人憤怒スルトキハ扼腕切齒自ラむらトイフ聲ヲ發スルモノナリ。めハ即コノむ聲ノ轉シタルチリト、後者信ニ近シ。
- 下手ヲへぞトイフハ「滅込」ノ意カ。
- 「直チニ」ヲまんなま又ハそんまトイフハ「ソノママ」ノ轉ナルヘシ。
- 「廻回」ヲへつ又ハへんぞトイフハ「滅込」ノ意カ。
- 規律ヲさちやめんトイフハ几帳面ノ義ニテ几帳ノ製ニ起ルカトイフ。

- 緩々ヲゆつくまトイフハ古言「ユクラユクラ」ノ轉ナルヘシ。
- 「如何ニ」ヲどうだ、なトだ、なでうだナドイフ。
- 我儘ヲせんしやうトイフハ僭上ノ意カ。
- 倒底ヲだうせトイフハ「ドウシテモ」ノ意。
- 虚言ヲ西頸城ニテせんみつトイフハ千ニ三ツノ意カ。
- 「後」ヲいんまにトイフハ「今ニ」ノ音便ナルヘシ。
- 終日ヲいっちんちトイフハ一日ノ訛ナリ。
- 「最モ」ヲいつちトイフハ第一ノ意カ。
- 旅歸リノ祝宴ヲはんばさぬぎトイフハ脛巾ヲ脱ク意。
- 訴訟ヲでりトイフハ法律ニ違ヒテ出入アル意ニテ徳府幕府ノ常語ナリ。
- 病氣ヲあんばいトイフハ鹽梅カ安排ナルヘシ。
- 生意氣ヲ中浦ニテろくさトイフハ「シヤラクサイノ」轉カ。
- 僥倖ヲとっぱづが、又ハとっぱづけトイフハ「トリハヅレ」ノ轉語カ。
- 將基ニたいまトイフハ對馬ノ義カ。
- 夜ノ仕事ヲよなベトイフハ「夜延」。(近古ノ通語ナリ。夜ノ部ノ仕事ノ意カ。)ノ轉ナルヘシ。
- 若キ時ヲかいらりトイフハ「若キ折」ノ意ナリ。

| 雅言若シクハ通語 | 彼處(アソコ)  | 否              | コレ程             | 多言     | 何程              | 散々            | 愚カ       | 御馳走 | 般賑            | 店    | 類冠             | 滑カ             | 内辨慶            | 火傷    |
|----------|----------|----------------|-----------------|--------|-----------------|---------------|----------|-----|---------------|------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 方言       | あまこ      | んだ             | こんがい            | めらす    | なんば             | ちやちやかもらや<br>か | だほ又ハねこ   | ごつよ | にやか           | めせ   | モツかかぶり         | つらつら又ハつる<br>つる | ふとめトろ          | やけッばた |
| 使用地      |          | 新潟             |                 |        |                 |               | 東沼<br>魚沼 |     | 魚沼            |      |                |                |                |       |
| 雅言若シクハ通語 | バカリ      | 混合物            | 妄リニ             | 其様ノ事   | 假寝              | 大抵            | 來(イザ)    | 皆   | 懇切            | 舊曆   | 倒マ             | 迷惑             | 不揃ヒ            | 程     |
| 方言       | ばかり又ハばかち | ませこせ又ハこた<br>ませ | むしやうに又ハや<br>たらに | モツけいの事 | きせこね又ハきせ<br>ころね | なから           | んとや      | んなな | ねつねつ又ハねつ<br>い | きよりき | さかーな又ハさの<br>しま | めいやく           | ぞろびこ又ハすり<br>びこ | ふせ    |
| 使用地      |          |                |                 | 南魚     | 北蒲              | 中頸            | 東蒲       |     |               |      |                |                |                |       |

| 幽霊    | 殘酷  | 雪落シ  | 嗚呼ナルコト | 振舞   | 間              | 水店   | 曖昧    | 氣ノ毒              | 恐ラクハ  | 充分           | 最下位  | 徐              | 限リ     | 共ニ   |
|-------|-----|------|--------|------|----------------|------|-------|------------------|-------|--------------|------|----------------|--------|------|
| もか    | ねほめ | 雪堀リ  | いないな   | ごつたく | あひさ            | みんトよ | まんちやら | もつけや又ハねや<br>げない  | じやうや  | さんざ又ハさつ<br>や | げつ   | やわりやわり         | さみざり   | 一いよに |
|       |     | 南魚   |        |      |                |      |       |                  | 南魚    |              |      |                |        |      |
| 上(ウヘ) | 朝登前 | 成程   | 左様トモ   | 毎ニ   | 悪戯             | 而シテ  | 洒落    | 終夜               | 勿論    | 万ニ一モナシ       | 同事   | 即              | 圓キ玉    | ナニシカ |
| てツちやう | 茶前  | あらはせ | はッてや   | ごめらよ | わるさら又ハかた<br>トリ | そいから | れつ    | よるよつびる又ハ<br>よつびて | ほッちやせ | ほッてもない       | 一けムフ | やつばー又ハやつ<br>ぱり | ばうんばうつ | なんーに |
|       | 南魚  |      | 南魚     |      |                |      |       | 西頸               |       |              |      |                |        |      |

|           |            |      |       |
|-----------|------------|------|-------|
| 黄色        | さわら        | 青色   | まつさを  |
| 速に        | とやかね又ハはやかに | 表裏   | あべこべ  |
| ノケサマ      | あをわけ       | ササヤカ | こトんまり |
| 私語(ササメゴト) | こそこそばな     | 退歩   | あどトやり |
| 疎暴        | がはつ        | 未熟   | やざ    |

第貳章 用言ノ部 (作用言、形状言ヲ混載ス。)

- 凍ルヲしみる、(源通村卿ノ詠ニ「箱根山まだ明けぬ間に越ゆるむ道のぬかりのまみどけぬ間に」トアルヲ見レバアナガチ方言トモイヒガタシ。又ハかんトる(寒スル)ノ轉カ)トイフ。
- 履物ニテ足ヲ痛ムルヲくはれたトイフハ「クフ」ノ自動言ナルヘシ。金葉集ニ「和泉式部がかもにまゐりけるにわらぐつにあしをくはれて紙をまきたり」トアレハ賤シキ言ニモアラジカシ。
- 閉ヅルヲまめるトイフハ「シムル」(下二段活)ノ俗言格ナリ。
- 事ニ拘ハリテ暇ナキヲあくせくとイフハ齷齪ノ音カ。
- 人ノ語ノ誤リヲ求メツケ入りテ詰ルヲわけあゝどるトイフハ他人ノ足ヲ擧ゲタルトキニツケ入りテ、其足ヲトリテ倒ス意ナルヘシ。
- 無氣力ナルヲいくなしトイフハ「意氣地ナシ」ノ轉カ。
- 威勢ヲ張ルヲいばるトイフハ「息張」ノ約カ。又りさむトモこんびんくさい(南魚)トモイフ。

- 煽動ヲただてるトイフハただつ(熾シ立ツル)意ノ訛ナリ。
- 遊びがかうトる、「蒼がのうトる」ナドイフかうトるハ「高ズル」ノ轉ナランカ。
- 定ムルヲさめるトイフハ「極ムル」ノ訛ナリ。
- 勵マシテ敵ニ向ハシムルヲさゝかけるトイフハ嗾ノ訛ニシテ「氣爲掛ク」ノ意ナリトイフ。此外は「うなる(北漣)ねさゝよりける、せかけるナドイフ。
- 品格ノ卑シキヲげびてをるナドイフハ下ノ音ヲ中二段ニ活用セシモノニヤ。
- 人ヲ摔ヘテ揺ブルヲこづくトイフハ「小衝ク」ノ義カ。
- 消化ヲこなれるトイフハ「粉熟ル」ノ義ノ訛ナラン。
- 憤ニ堪ヘザルヲぶふがにひるトイフハ業火ノ腹ニニユル意ヨリ出デシナラン。此外さもがやける、さもぬれる、こせやける、いんきやく、ごうらす、いばくる、へつける、いばつるナドイフ。
- 人ヲ譏ルヲさんどういふトイフハ譏訴ノ訛カ。
- 尤ラシキコトヲまかつめらトイフハ「然リツベキヲシ」ノ略轉カ。
- 萎ルルヲまなびるトイフハ中二段活ノまなぶ(撓フノ轉カ)ノ訛ナリ。
- 煤ニ染ミツクヲままけるトイフハ「煤ク」ノ訛ナリ。
- 移動スルヲするトイフハ「摩ル」ノ訛カ。
- 恍惚ヲとぼけるトイフハ「トホホク」(遠恍ク)ノ略語カ。



○嬌治ヲにやけるトイフハ弱ノ音ノ活用カ。

○價ヲ減ゼヨト望ムヲぬぎるトイフハ「直切ル」ノ意ナラン。

○偃蹇ヲのさばるトイフハ「伸ビ張ル」意カ。又のたばるハ「倒張」ノ義ナルヘシ。

○紙ナドヲ開クヲはぐるトイフハ「刺ギ捲クル」意カ。

○衝突ヲぶつかるとイフハ「打ち當ル」ノ轉カ。

○熱キヲはてる(火照)ノ義カ)又ハはどるトイフ。

○大キナルヲでつかい、でつこい(コレ古ヘ大ナルコトヲ「イカシ」トイヒシ轉語ニテ、貝柄益軒氏ハ「イカメシイ」ノ畧語ナリトモイヘリ。)こつたい、こつさいハ「コチタ」ノ轉ナラン。高大ノ説モアレド、前者ヲ可トス。)のぶどい(北魚)ぐらぐらで(北蒲)すてきもな、たつけい、(津川)すぎれ(過ギ出)ノ轉訛カ)づぬけ(圖抜ケ)カ)ナトイフ。

○「多シ」ヲたんど、ぎやうさんトイフ。たんどハ「足リヌ」ノ音便「タンヌ」ノ轉語ナルヘシ。サルヲアル人ハコレヲ蒙求ニ「姜維膽斗」トイヘルヨリ出デタルナリト説ケレトモ從フ可カラヌ。ぎやうさんノぎやうハ饒ノ義ナルヘシ。古哥ニ「大和なるうちのこはりの戸たて山せうにをりたるうきわらびかき」トアルコレナリ。又いつばぬ、こつたま、づなぬ、ままたか、へつぺあ、せつぺあ、せつざり、ぐつざり、どつちり、げい、(魚沼及ビ南蒲ノ方言ニ途を途トイフモ「足リヌ」ノ轉カ)ナトイフ。

○苦ムヲせいぬい、こわぬ(又こゑトモイフ)トイフ。せつないハ「術ナイ」ノ轉カ。

○穴ヲ掘ルヲはげるトイフハ「堀投グル」ノ約言ナルヘシ。例ヘバ「火ヲはげる」。「雪をはげる」ナトノ如シ。

○捨ツルヲびちやる、(ぶちやる、ぶたる)トモイフ。びちやるハ伊勢物語ニ「ぬきすをうちやりて」トアリ。コノぬきすハ女ノ手洗フ所ノ竹ニテ編ミタル篋ノ子ヲイフ。打やりて「東國ニうちやる」トツメテイヒシガ轉ジテびちやるト訛セシカ。はかす、(コレハ「渤海捨」トイフ三字ノ頭字ヲ一ツツ、取リテイフトソ。又「放下ス」ニテ禪家ノ語ナリトモ「外」ノ意ナリトモイヘレト、イヅレモ牽強附會ノ説ニ近シ。オモフニ「ホホカス」ノ約ナルヘシ。落窪物語ニ「着せ給へ云云着せ奉れどははか」給ふにやトアルコレナリ。)ほぎなげる、うだる、んだる(岩船)ナトイフ。

日野資徳氏ノ考ニ、コノ言ハ「打ち遣ル」ノ訛トイフハ中々二本末違ヘリトイヘリ。神代記ニ天照大御神云云さかみにかみて吹うつる云云同記八千矛神ノ御哥ニぬと玉の黒さみけーを云云へつなみそにぬさうてナト吹さうつるハ吹捨ツル、ぬさうてハ脱捨テナリ。今モ船ノ難船ニ遭ヒテ積荷ヲ捨ツルヲ荷をうつトイフ。然レバぶたるハ古言ノ訛ニテラッちやるハぶたるノ猶訛リタルナルヘシ。

○負フヲせう、(背負フ)ノ約語ナルヘシ。或ハぶら(コレモ「負フ」ノ轉訛ナルヘシ。)トイフ。又かつぬる、かたねる(ねハゲ)ノ轉ニテ掛ノ意ナラン。トモイフハ肩ヲ以テ物ヲ支フル時ニ限ルヤウナリ。○「遣ハセ」ヲいくせトイフ。コレれこせ(送り越セ)ノ畧語)ノ轉ジテよこせ(寄セ越セ)ノ畧ナリトモ

イフ)トナリ、更ニ轉ジテハクセトナリシナラン。万葉ニ「八鹽に染而於巳勢多流」。又管公ノ御詠哥ニ「東風吹らばにはひれこせよ梅の花のあるトなしとて春を忘れそ」トアルコレナリ。

○人ニ物ヲ與フルヲくれる(徒然草ニ「よき友三つあり。一つに物くる、友云トアリ。土佐日記ニモコノ言アリ。トイフ。コレ一般ナリ。又三嶋ニテハくすトイヒ、古志蓬平村邊ニテハまらせるトモまらす(イツレモ「參ラス」ノ轉ナリ。トモイフ。

○驚クヲたまげるトイフハ「魂消ル」ノ意、たびるトイフハ「オビユル」ノ轉ナルヘシ。

○居アルヲねまる、(一般)つくばう(南魚及古志)トイフ。

因ニイフ。跪居ヲ書記ノ訓ニ「ツキウ」トイヘリ。

○觸ルルヲわたる(當ル)ノ義)又ハよろふ(「イロフ」ノ轉)トイフ。

○打ツヲはたくトイフハ「叩ク」ノ轉ナリ。

○形ノ平ナルモノヲペッチやらこいトイフハ「扁タシ」ノ轉訛ナルヘシ。

○欺クヲだます、(たまハ「タバカル」ノ片言カ)たぐらす(「タブラカス」ノ畧カ)つまする(手間ノ意カ)ナトイフ。

○美シキヲいとげトイフハ「最惜氣」ノ畧語ナラン。

○強キヲきつといトイフハ「氣強シ」ノ意カ。(又がハトイフ處モアリ。)

○失策ヲまぐとするトイフハ「爲挫ル」ノ意ナルヘシ。コレ一般ナリ。南魚ニハそくねる(ソコネナリ)ト

イヒ、岩船ニハがつかり、又ハベツたりトイフ。

○腐敗シタル食物ノ惡臭ヲねくさいトイフハ「匂ヒクサシ」ノ轉語カ。

○速成ヲはかいトイフハ「ハカバカシ」ノ雅言ヨリ出ツ。

○避クルヲそくトイフハ(使令言をけれ)ハ「ノク」ノ轉訛ナルヘシ。

○打毀スヲばっこうす、(打コハス)ノ轉)又ハこんこうす(踏ミコハス)ノ義ナルヘシ。コレ一般ナリ。

中頸城ニテハめげた(過去)めげる(現在)トイフ。

○サウラシキヲそんげいだ、(コノげ)ハ形状言ノ語尾ニ在ルコト常ナリ。又ハそんがな(コノ)がハげノ

轉音ナラン)トイフ。

○小サキヲちんこい、めんごい、めっごい、のっごい、めんごちいナドイフ。

○捕フルヲふんどばるトイフハ「踏ミ縛ル」ノ義ナルヘシ。又之ヲふっつかめるアルハどっつかめるト

イフハ「攫ム」ヨリ轉ゼシ語ナリ。

○頭ヲ打ツヲまやぎつける、まわぐ、くらす(拳ヲ喰ハス意)はる、(中古ノ常語ニテ俳諧ニモ「あたまはるさめ」ナドイフガ如シ。)とをつく、(コレハ棒ナトヲモテ打ツコトニテ「築ク」ノ意ナリ。)こばる、はりつける、なぐる(「薙グ」ノ轉訛)ナトイフ。

○放屁ノ放ヲふる又ハこくトイフハモト大便ノ腸ヲ出ヅルヲ形容セシナラン。

田中小稻曰ハク。こくトイフ詞ハ古事記「わがたなまたよりくさし御子なり云々。」古今集「こさち

我手股

ふす麗の白玉云云。「山のくまみち」。「針にて裾をくけ」ナト皆こくと同ジ詞ナリ。こくハモト糞マル形容ヲこくとイヒタルニテ、移リテうそをこく、盗こき、上手こくと何事ニテモスルトイフ所ニツケテイフナリ。因ニイフ。虎子ヲねまるトイフモ糞マル器ユエニシカ名ツケタルナルヘシ。

○轉落スルヲはげずりねちる、まくづれねちる、(眞崩カ)まくどりねちるナトイフ。

○冷カナルヲはっこい、(コノハ)ひやノ約ナラン)又ハはけトイフ。

○惨然見ルニ忍ビザル状ヲもげつけないトイフハ「ムゲ」又ハ「ムクツケ」ヨリ轉ゼシ語ナルヘシ。

○獸類ノ死セシヲくたばった(腐張ノ意)又ハどねた(南浦)トイフ。

○躊躇ヲぐづぐづ、まごまご、まごつくナトイフ。

○病氣ナド益重クナルヲまことりらすトイフハ「シシコヲカス」ノ轉ナルヘシ。源氏物語若紫ニ「まこ

こらかしつるどきはうたてはへるへさを云々」トアルコレナリ。

○「ソレガ善イ」トイフベキ所ヲそれがりい(魚沼)ト稱呼スルハ「其レガ利」ノ義カ。

○残念ヲのこりよい、又ハのこりないトイフハ「殘多」ノ義カ。

○奪ヒ取ルヲひつたぐるトイフハ「引キ手線」ノ義ナラン。

○「御出ナサレ」ヲごさいトイフハ「御座レ」ノ音便ナルヘシ。

○歩ムヲようぶ、(魚沼)あいぶ「歩ム」ノ轉)わく「アルク」ノ轉)「わらく、(北西蒲原)ナトイフ。

○裂クヲさばく、(破ルヲ)やばく)ひっさばく、むざくナトイフ。

○容易キヲたわいない、又ハさうさがない(「造作ガ無イ」ノ意)トイフ。

○イムヲまくらまる(縮ムナリ)又ハまやごたるトイフ。

○持ツヲたがくトイフハ「手アガク」ノ約語ナルヘシ。

○前方ニ類ルヲのめる又ハつのめるトイフハ叩頭ヲ「祈」トイフ古語ヨリ出デシカ。

○烟ルヲいぶるトイフハ大祓ニ「高山ノイボリ、低山ノイボリ」トアル「イボリ」(雲霧ナリ)ノ轉ナルヘシ。

○口中ニ物ヲ含ムヲはばる又ハはらうばるトイフハ「頬張ル」ノ意ナルヘシ。

○咽喉ニ障ルヲはばけるトイフハ万葉ニ「天雲もいゆきはばかり」トアル「憚ル」ノ轉ナルヘシ。

○年老イテ氣ノ違ヒタルヲもんばれ(北浦)又ハもうふれトイフハ迷惚ノ意ナルヘシ。

○容赦スルヲかによする、又ハかによするトイフハ「堪忍スル」義ナルヘシ。

○家ニ歸ルヲあがるトイフハ「罷ル」ノ轉カ。

○眩シキヲあつりまーい、(コレハ女子ノ耻ヲ知ラヌヲイフ)やかまーい、(彌留シ)かくらーい、(北

浦)さーこーねえ(中魚)ナトイフ。

○湯ノ温カナルヲぬくい又ハぬくといトイフハ「ヌルシ」ノ轉訛ナルヘシ。

○拈ルヲひねくる、又ハへねくるトイフ。

○反轉スルヲどつくりうへき、又ハどつくるかへきトイフ。どつハ句頭ノ助辞ニシテ強メ詞ナリ。くるハ線カ。

○物ノ抜クルヲまつはけるトイフ。まつモどつト同ジク句頭ノ助辞ニシテはけるハ「ホカス」ノ自他言ナリ。

○狡猾ヲねれぞい、はーこい、はーかいナドイフ。

○目眩スルヲかがッばい、うがはい、かがばいナトイフハ「瞶ハユキ」轉ナルヘシ。

○樞マグラルル心持ヲこそばッこいトイフハ著聞集ナニ「この僧こそばゆざはたへぬものありけるに云云」トアル「コンバユシ」ノ轉語ナリ。但シ足ナトヲ搔摩スル時ニ起ル一種ノ感覺ヲバもどがいトイフ。

○荒レ立チテ騒グヲ佐洲ニテハねるトイフ。

○繰リ返シ言フヲトどぐどぐといふトモくぢッばいトモイフ。

○小兒ノ愛ラシキヲいたいけなトイフハイトキナキ義ナルヘシ。

○諛フヲさいさある、さいさこく、めいさこくナトイフ。

○結ビ付クルヲいつけるトイフハ「結ビ付クル」ヨリ轉ゼシナラン。

○烈シキヲかうさだトイフハ「強氣」ノ意ナルヘシ。

○憤ルヲむつとせるトイフハ漢字ノ「勃」ノ字ニ當ル。

○飽キタルヲ岩船ニテはらくッちやいトイフハ腹痛苦痛ノ轉ナルヘシ。

○惡泣スルヲトやみる、「情見ルカ」はえづる、「吠エ出ヅルカ」トくねるナドイフ。又むづかるハモト發憤ノ義ナルヲ後世其意ヲ轉ジテ啼泣ニモ用井ル。

○叱ルヲねぞす、「威スカ」をなりつける、「ど」ハ句頭ノ助辞ニシテなりつけるハ「嗚ッ付クル」ナラシム。さべる、ねめる、たけるナトイフ。

○人ノ失敗ヲ喜ブ時ニいッきびだトイフハ「善キ氣味デアル」ノ義ナリ。

○己レノ過ヲ悔ユル時ニねほごじトイフねほごトハ大事ノ意ナリ。

○憐ムヲさのどくがるトイフハ氣ノ毒ヲ活用セシ言ナリ。

○小兒ノ大人ニ愛ヲ求ムルヲわばいるトイフハ「甘エル」意ナリ。

○競ヒ奪フヲばぬつりあふトイフハ「奪ヒ取り合フ」ノ轉語ナラン。

○耻ラフヲうしろトイフハ笑止ノ意ナルヘシ。中魚ニハ之ヲねやげねトイフ。(しうしを活用シテしうしがるトイフ。)

○物ニ畏レヌヲどきやうがいトイフハ「胸膈ガ善イ」ノ意ナラン。

○作法正シキヲめめがいトイフハ「美目善シ」ノ意カ。

○射ルヲよる又ハやるトイフ。

○動クヲぬのく、ぬぞく、やかく(上越地方)わかく、(足掻ナリ。馬ヨリ出ダタル語。)ナトイフ。

- 居ルトイフヲ卑シメテけつゝあるトイフ。例へハ「威張りてけつゝある」ノ如シ。
- 可愛キヲめぢめ、みぢやうい、めぢやうい、めぢやうげ、みぢよがるナトイフハ万葉集ニ「妻子見レバメグシウツクシ」トアル「メグシ」ノ轉ナルヘシ。
- 人ニ賞與スルヲひりやうりく(南魚)トイフハ日料ノ意カ。
- 甚シキヲえらい、いッせこ、いそふい、げんがふーナトイフ。
- 知ラヌヲだちがないトイフハ「跡ガ無イ」ノ轉ナリ。
- 賢シキヲれぞいトイフハ「オソロシ」ノ轉訛ナルヘシ。
- 蹈ルヲどびる又ハどぶるトイフハ「飛ビ入ル」ノ轉ナラン。
- 字又ハ書ヲ二度書キスルヲなぐるトイフハ「撫ル」義カ。
- 雅言ノ「知リモセデ」ヲ北魚ニハまじりもーくらんでトイヒ、西浦ニハ知りもーらんでトイフ。
- 去レト使合スル時ニまぐれトイフハ「退レ」ノ轉ナルヘシ。又うつーやがれトモイフ。
- 手傳スルヲわいはうする、わいはする、たうで(手傳)ノ音便(ナトイフ。又力作ヲ助ケ合フヲえをするトイフハ「役」ノ意カ。
- 粗末ヲそさうトイフハ粗造ノ意カ。
- 貯フルヲたばう(保ツ)ノ轉カ)又ハどつてねく、(取リテ置ク)意。(トイフ。
- 上ニ物ヲ懸クルヲ南浦ニテへるトイフハ經ノ訛ナル「ヘル」ノ轉カ。

- 魚ヲ切ルヲはやすトイフハ正月ノ七種菜ニ「切ル」トイフヲ忌ミテ音ニテ「噉ス」トイヘルニ起レリトソ。
- 希求ノ辞ニさへ又ハまやれトイフ。詞アリ。(沼垂ニハなんーやう)  
田中小稻曰ハク。人ニ物ヲ命スルニ「草をくらさへ」。水をくまさへ「ナトイフコトアリ。又「からーやれ」「くまやれ」トモイフ。淨瑠璃ヲフウタヒモノニハ「からしやんせ」「くまーやんせ」トイフ。「家のらへ」「名のらさね」「マタ」「小松がもとの草をからさね」等アリテ「名のらさへ」「からさへ」トイフニ同ジ。シカレバさねヲフコトバノさへニ移リ、しやれ、まやんせトヤウヤウニ訛リタルコトウツナシ。今ノ世文章ニ被<sub>レ</sub>成、被<sub>レ</sub>下ト書クモなさへ、くださへガモトニテなされ、くださへハ末ナルヘシ。又方言エくらさへトイフモ賤シキ言ノ如キ聞コユレドモ、もらふ、くるテフ詞ハ哥ニコソ多ク見エネ、イトフルキ詞トオモボユレハくらさへヨリくださへニ移リ、ツヒニ被<sub>レ</sub>下ノ漢字ニ充テタルナルヘシ。
- 強請スルヲせぶる(責ムル)ヨリ出デシナラン)又ハねだるトイフ。
- 強健ナルヲがんでうトイフハ岩盤ノ義カ。
- 貼リタルモノノ離ルルヲへげる又ハはげる剝脱ノ意ナルヘシ。
- 時間ヲ費スヲてまどる(手間取)ひまどる、だくな(太平記ニ「箭ダウナ」トイフコトアリ。)ナトイフ。
- 待遠ナルヲまちぶまたい又ハまちぶたいトイフハ「待ツビシ」ノ轉カ。

- 恐ロシキヲをそんげ(佐渡)トイフハ「オソロシゲ」ノ轉カ。又れつかないハ「奥處無」ノ意ナルヘシ。
- 口論スルヲさばるトイフハ「氣張ル」意カ。
- 酒ニ酔ヒシヲめいてつーた(南魚)トイフハ「酩酊」ノ意ナルヘシ。
- 物ヲ食フ罵辞ニまぐらトイフアリ。コノまハ句頭ノ助辞カ。
- 物ノ潤フヲくさる、又ハなくれる(中頸城)トイフ。
- 幼年者ノ愧ヅル容ヲ中頸城ニテむにるトイフ。語原未タ考ヘス。
- 水ニ浸スヲ津川邊ニテハをろかす(ウルカス)ノ轉。(トイヒ、魚沼地方ニテハほどばす(「ホトビサス」ノ轉)トイフ。
- 苦ニナラヌヲくたもんにならぬ(北蒲)又ハくたまにならぬ(西蒲)トイフ。
- 安坐スルヲあぐりつく(一般)又ハろくにゐる(岩船)トイフ。按ズルニあぐらハ「脚坐」ナリ。「跏坐」ヲらちあぐみト訓ス)又ろくトイフハ直ノ字ニ當ルカ。
- 長キコトヲ形容シテべろくそあがいトイフ。
- 人ヲ形容シテ、のつこのつ、「伸ビツ伸ビツ」ナリ。のつこのつ、「伸ビツ屈ミツ」ナリ。のつこのつ(「伸ビツ反リツ」ナリ)ナトイフ。
- 人ヲ賞ムル時ニいらいトイフハ「痛シ」ノ義カ又ハ「苛シ」ノ意ナルヘシ。
- 追フヲばふ、ばつたくる、ばつこくる(三嶋)ナトイフ。

- 醜キヲ北蒲ニテひなむりいトイフハ「品悪シ」ノ轉カ。
- 物ヲ容ルルヲつづこむ(岩船)又ハつづこむ(西蒲)トイフハ「突込ム」ノ轉ナルヘシ。
- 戯ルルヲひやうける、だうける、どばける(どハ助辞、はけハ惚ナリ)ナトイフ。又あばけるトイフハ人ノ短ヲ許クヨリ出デタルカ或ハ「アハツケシ」ノ轉カ。
- 同伴スルヲいぢやッてくれるトイフハ「行キ合ヒテクル」ノ轉カ。又北魚ニテててトイフハ「連レテユク」ノ轉訛ナルヘシ。
- 騒シキヲうつたう、又ハさうざういトイフ。(雅言ノさうざうハ「寂寥」ノ意ニテコレト異ナリ。)中魚ニテハさッからしいないアルハうるさいトイフ。
- 頭痛ヲなづきやめるトイフ。(和名、奈豆岐)ハ「腦」ノコトナリ。
- 長閑キヲをのびッだトイフハ「延ビ延ビデアル」ノ義ニシテをハ句頭ノ助辞ナラン。
- 吝嗇ナルヲわつひ、「根強シ」ノ略カ)けち、「劣ス意」ノ消カ。まじし(敏ヨリ出デタル語カ。つこい、うまーつば(二語未ダ考ヘズ)ナトイフ。
- 重キヲねもたいトイフたいハ痛ニテ甚シキ意ナリ。
- 人ヲ欺キテ財ヲ取ルヲ重キヲゆさる(搖ノ意)輕キヲゆさる又ハよさるトイフ。
- 群集スルヲよつたかるトイフハ「ヨリタカル」ノ音便ナルヘシ。
- 業ヲ受クルヲをそはるトイフハ「教ヘラル」ノ轉カ。

○勉強スルヲ志んけんだすトイフハ「真劍出ス」意ナルヘシ。  
 ○酬ユルヲなすトイフハ「借リタルモノヲ濟スヨリ來レリ」。  
 ○漱クヲいすトイフハ「ユスル」意ナラン。  
 ○手凍ユルヲはトかむトイフハ「カシケル」ノ轉カ。  
 ○寝ルヲねそべるトイフハ「側ノ意カ」。  
 ○休ム暇ナキヲのんきがないトイフ「伸氣無シ」ノ意カ。  
 ○忘ルヲせうすり(南魚)トイフハ情婦ヲひきすりトイフガ如シ。  
 ○羨ムヲけなりがるトイフハ「殊也」ヲ活用セシ言カ。  
 ○菓物ノ熟スルヲよむトイフハ「饜ム」ノ轉カ。  
 ○甘キヲわいゝトイフ。太平記ニ「いしり」時はむさうに喰ひちち云云「トアルいゝ」ノ轉カ。わいゝハ尊稱ナリ。  
 ○勇悍ナルヲがんまやふなトイフハ我武者カ。  
 ○寒烈ナルヲ中魚ニいたへるトイフハ凍裂ヲ「イテル」トイフヨリ出デタルカ。  
 ○權利ヲ放棄スルヲトけるトイフハ縮ケル意ナルヘシ。  
 ○切齒スルヲはがいがるトイフハ「齒痒」ヲ活用セシ言ナルヘシ。  
 ○臥スヲはてがへるトイフハ反側ノ意ナリ。

○困却スルヲ北浦ニテがをるトイフハ我ヲ折ル意ナリ。又てこすむトモイフ。

| 雅言若シクハ通語 | 方 言                 | 使用地 | 雅言若シクハ通語 | 方 言            | 使用地 |
|----------|---------------------|-----|----------|----------------|-----|
| 買フ       | まげる又ハれどる            |     | 弄ブ       | ちよす又ハちよす       |     |
| 猶豫フ      | まごつく                |     | 浴ブ       | あぶる            |     |
| 雄偉       | すばらしい               |     | ソソノカス    | れだてる           |     |
| 妬ム       | くやしがる               |     | 寤ム       | いぢめる           |     |
| 訴フ       | ひよる                 |     | 離縁ス      | でばる            |     |
| 遠シ       | てろい                 |     | 萎ル       | いなぶれる          |     |
| 勿來(クナ)   | くんな                 |     | 溢ル       | こぼれる           |     |
| 罵ル       | こあす                 |     | 急グ       | せく             |     |
| 熱シ       | あつちやい               |     | 嘲弄ス      | ちよろかす          |     |
| 拾フ       | ほろふ                 |     | 疲ル       | てきない           | 北浦  |
| 圓シ       | まるまっこい、又ハ<br>まろくったい |     | 咬フ       | かぶりつく          |     |
| 叱ラル      | れつつあれる              |     | 姿ヲ乱ス     | ただくさる          | 南魚  |
| 屈ム       | まやがむ又ハこを<br>なる      | 西三浦 | 不潔       | さしやない又ハや<br>ばい | 中頸  |

|      |             |      |       |      |     |    |               |                |      |             |       |          |       |      |
|------|-------------|------|-------|------|-----|----|---------------|----------------|------|-------------|-------|----------|-------|------|
| 爲ス   | 咄ル          | 凍ユ   | 引去ル   | 煤ヅ   | 短シ  | 長シ | 酸シ            | 折ル             | 憚ル   | 好飾          | 誹ル    | 寒シ       | 植ウ    | 甘カラズ |
| ゝる   | ままなく又ハここめる  | こげる  | ふちちやる | えでる  | みトけ | なげ | すつうム          | ねッばーよる又ハへッばーよる | もちる  | だてこく又ハしやれこく | ざッざいふ | さぶい又ハさびい | えべる   | ますい  |
|      |             | 北蒲   | 北蒲    | 北蒲   | 北蒲  | 北蒲 |               |                |      |             |       | 北蒲       | 北魚    |      |
| 絶間ナシ | 奪フ          | 罇ヅル  | 漏ル    | 取り替フ | 面白シ | 白シ | 酸シ            | 塞グ             | 矮少   | 磊落          | 馴レ戯ル  | 嬉シ       | 罪ヲ負ハス | 爲ス   |
| のはず  | ふッなごく又ハふんだる | さやづる | むる    | どける  | ねもせ | まれ | よかつばい又ハーよかつばい | くへる又ハくべる       | ちつくり | さくム         | トやらける | うるい      | かづける  | やらかす |
| 中蒲   |             | 北蒲   | 北蒲    | 北蒲   | 北蒲  | 北蒲 |               |                |      |             |       |          |       |      |

|                |          |        |         |      |      |      |        |     |            |       |       |          |       |       |
|----------------|----------|--------|---------|------|------|------|--------|-----|------------|-------|-------|----------|-------|-------|
| 爲ン術ナシ          | 遅緩       | 正シク坐ス  | 誤ル      | 叫ブ   | 走ル   | 束ヌ   | 人ヲ苦マス  | 剝グ  | 密着セズ       | 酒ヲ香マズ | 遣ハス   | 紆フ       | 蟠ル    | 捕フ    |
| なトよーよもなん<br>あい | ずるい又ハぬるム | つくばる   | ていどー    | ーやけむ | どぶ   | まるける | せめむーる  | むく  | くつろぐ又ハくさつく | 酒わがらぬ | かす    | うらがく     | わぐらかく | つかめる  |
| 南魚             |          |        |         |      |      |      | 三嶋     |     |            |       | 古志    |          |       |       |
| 兎モ角モ           | 自慢       | 輕躁     | 寢返ル     | 呼ブ   | 徘徊   | 撓ム   | 圖ラズ    | 沈ム  | 匍匐         | 無情    | 噫ル    | 包ム       | 弱シ    | 執拗    |
| がつさへもつさへ       | んげんめる    | うさやうつく | どこがはらうつ | 呼ばる  | ぶらつく | たごめる | どんでもない | もぐる | する又ハとひする   | いとーば  | はなーよむ | くるむ又ハくろむ | がうかれ  | ぎしやばる |
|                |          |        |         |      |      |      |        |     |            |       |       |          |       |       |



|         |            |    |       |          |    |
|---------|------------|----|-------|----------|----|
| 微小      | ほトない       |    | 粗質    | ざらッばい    |    |
| 忌忌シ     | べらばッくさい    | 中魚 | 嬰鑠    | がつちやう    | 中魚 |
| 解クル     | ほぞける又ハツドける |    | 危ク思フ  | ひやい      |    |
| 珍奇      | せける        | 中頸 | 諂フ    | れんべ      |    |
| 愧ヅ      | けすむ        |    | 他人往ク  | いぎやッた    |    |
| 人來ル     | きやッた       |    | 止メヨ   | ねきやがれ    |    |
| 尋ヌ      | さがねる       |    | 手強シ   | がつどう     |    |
| 物ヲ踏ム    | どふむ        |    | 悪評    | かがなく     |    |
| 不結末     | だりこッばい     |    | 上向ク   | てんこうふく   |    |
| 孚化      | みよける       |    | 擢ヅ    | しがむ      | 中浦 |
| 油等ノ凝固スル | こどる        |    | 氷漸ク   | ざうける     |    |
| 温ム      | あッためる      |    | 事ヲ疎ニス | ちよちよらにする |    |
| 消ス      | けやす        |    | 世話    | はぢける     |    |
| 舐ル      | なめる        |    | 小シ    | ちんこい     |    |
| 來レ      | ござい        |    | 少シ    | すけない     |    |

第三章 助辭ノ部

○よトイヘル命令辭。

使令言ニ添フル助辭ノよラれ、い、ろナドイフ。例へバ「來ヨ」ラこい、「起キヨ」ラねされ若シクハ起きろトイフガ如シ。ママ起ようナドイフハ雅言ニ近シ。又北浦ニテハ之ヲわやトイフ。行けわや、こいわや(早ノ轉カ)ノ類ナリ。

○それだすかい又ハそれださかいノさかいハ「然故」ノ義ナリ。北浦ニハさのねトモすウトモイフ。

○こそトイヘル指示辭。

刈羽郡ニテハくそトイフヨシナリ。

○はトイヘル指示辭。

「來テハ」ラ來ちや、「今日ハ」ラこんちやトイフ。

○人ト別ルルトキニさいなトイフハ「左様ナラバ」ノ略語ナリ。コレ一般ナリ。南魚ニハそんトやはトや、(小兒語わばやい)トイヒ、岩般ニハんだと、又ハそんだばトイフ。

○語尾ノぞラさい、だい、せ、ナドイフ。コレ北浦ノコトナリ。中浦ニハばいトイフ。

○がん、がんね、がんにトイフ詞ハガトノトノ重複ナルヘシ。

田中小稻曰ハク。コノ詞ニ二ツノ別アリ。体言ヲウクルハ此がんねのがんトイヒテ、崇神記ニ「ねのが<sup>食</sup>ヲをーせむと云云」。古今集歌ノ註ニコノ哥ハ柿本の人丸がなりナトアリテ、ワガ方言ニテイフキハ、己が<sup>オ</sup>んををーせむと云云。「人丸がん」ナリト異ナルコトナシ。又連体言ヲ受クルハゆくが<sup>オ</sup>んね、くるがんに等が<sup>オ</sup>んねトモがんにトモイフハ<sup>十二</sup>万葉「里人もるさつぐがねよーるやー云云」、古今「なく涙雨とふらなむむさり川水まさりなばかへりくるがに」ト中中ニ古人ハ其ママ哥ニヨミタリ。

○語尾ニことんしトイフアリ。

田中小稻曰ハク。越後ノ方言ニことんしトイフ詞ハ古クヨリ云ヒ來レル詞ニシテ、藤栗毛テフモノニモ<sup>伏見ヨリ京へ登ル旋舟ノ乗合中</sup>越後ノ人ノ詞ノウチニモアリ。載セテアリ。見ることんし、さくことんしハ「見ルコトヨ」「聞クコトヨ」トイフ意ト聞コユ。<sup>万葉十</sup>四東哥ニ「たくふすまーらやまかせのねなへともころがねとさのあろこそえーも」コノ歌「コソ」トカ、リテ「エシモ」ト結ビタルハ格ニタガヘルヨシ詞ハ玉れ緒ニ論ハレタレドモ、此次ノ哥ニ「みそらめく云云」もにことんしとひあすのへりこむトイフ歌ニ字配リ方イトヨク似タレバモシハ「會」ハ「等」ノ草ノ手ヨリ誤リタルニハアラザルカ。然ラバ「たくふすまーら山風の寐なへとも子等がねとさどあろこそえーも」ト訓ミテ方言ノことんしニヨク叶フメリ。

○賤者ニ對シ使令スル語尾ニやがれトイフコトアリ。例へハさやがれ、ーやがれノ如シ。コレ罵辭ナリ。

○南魚ニイフだッペハ「デアアルベシ」ノ轉訛ニテ上野詞ノ波皮セシナリ。

○北魚ニばッど、(負ハレヤウカ)くつど(與レヤウカ)トイフどハ俗語ノ「ヤウカ」ニ當レリ。

○使令言ノ尾ニテヲ添フルコトアリ。例へハ「來ヨ」ヲこいて、「クレヨ」ヲくれてトイフガ如シ。コレハトノ轉ナラン。

○をヲ音便ニテのト呼ブコト魚沼郡ヲ尤多シトス。例へハ雅言ニテ「本ヲ持チテ來ヨト」イフヘキトコロヲ「本の持つてこい」トイフガ如シ。而シテコレハスヘテ体言ノ語尾ニんノ音アルトキニ限レルニ似タリ。「茶碗の持つてこい」トイヘドモ、「硯の持つてこい」トイハヌニテモ知ルヘシ。

新保正與曰ハク。んニ續クトキ、をヲのトイフハ、つニ續クトキ、をヲどトイフニ同ジ。

○にヲねトイフコトアリ。例へハひまね(後ニノ意)ノ如シ。

○間投詞ノなわ、ない、ねい、のを、のし、ねし、なみハ雅言ノなむニ當ル。

○間投詞ノあッきやハ「アアキタヤ」ノ略語ナラン。

○語尾ニさヲ附スルコトアリ。例へハ其新聞ヲかし玉へさ、かうであるさトイフガ如シ。コノさハ誘フ辭ナルヘシ。

○返答スル時ニあわ、いい、はあ、をを、んう、あぬ、あいやい、んないナトイフ。

○人ニ物ヲ言フトキニわのそらトイフそらハ其ノ義ナルヘシ。

○驚ク時ニ南魚ニハんにやトイフ間投詞ヲ用ル。

○雅言ノなる(即チ俗語ノな)ヲだトイフコトアリ。コレハ北浦ニ尤多シ。例ヘバこんだ、あんだハ「コノヤウナ」「アノヤウナ」ノ意ナルガ如シ。

○否決ノ間投詞ニ北浦ニテうんにや、又はうんまトイフ。

○語尾ニわ又ハわんーヲ添フルコトアリ。例ヘバ、知らないわ、知らないわんーノ如シ。

○わってや、わってトイフ間投詞ハ「アアサテ」ノ轉訛ナルヘシ。

○間投詞ノねをトイフヘキ語ヲ新潟ニテハをわッるトイフ。(藝妓輩ノわらモ之ニ似タリ。)

○予ハツイデニ南魚五十澤村ノ方言ヲ附記セン。

先生さ、まゆト、なんにも、ござんないまかい、ーづかつらに、でんと、ござーって、くださ。

コレハ「先生ニオカセラレテハ何モナキユエニユルユルトシテ居テ下サレタシ」ノ意ナリトゾ。

○左ニ音韻ノコトヲ少シク述ブベシ。

い、る、え、ゑ、ノ區別。

北浦西浦ニテハえ、い、ゐ、ノ音えト呼ブ。

ねトを。

北浦ニハをノ音ナシ。

せトを。

シヲせト呼ブハ北浦、岩船ヲ殊ニ然リトス。

轉音。

せヲーえ、のヲぬ、はヲふわ、ふえヲへ、はヲふね、よヲゆト誤ルハ北浦ニ尤多シ。

鼻音

岩船、北浦、東浦ノ三郡ハ惣ジテ鼻音ナリ。

ちトつ。ろトる。どトろ。

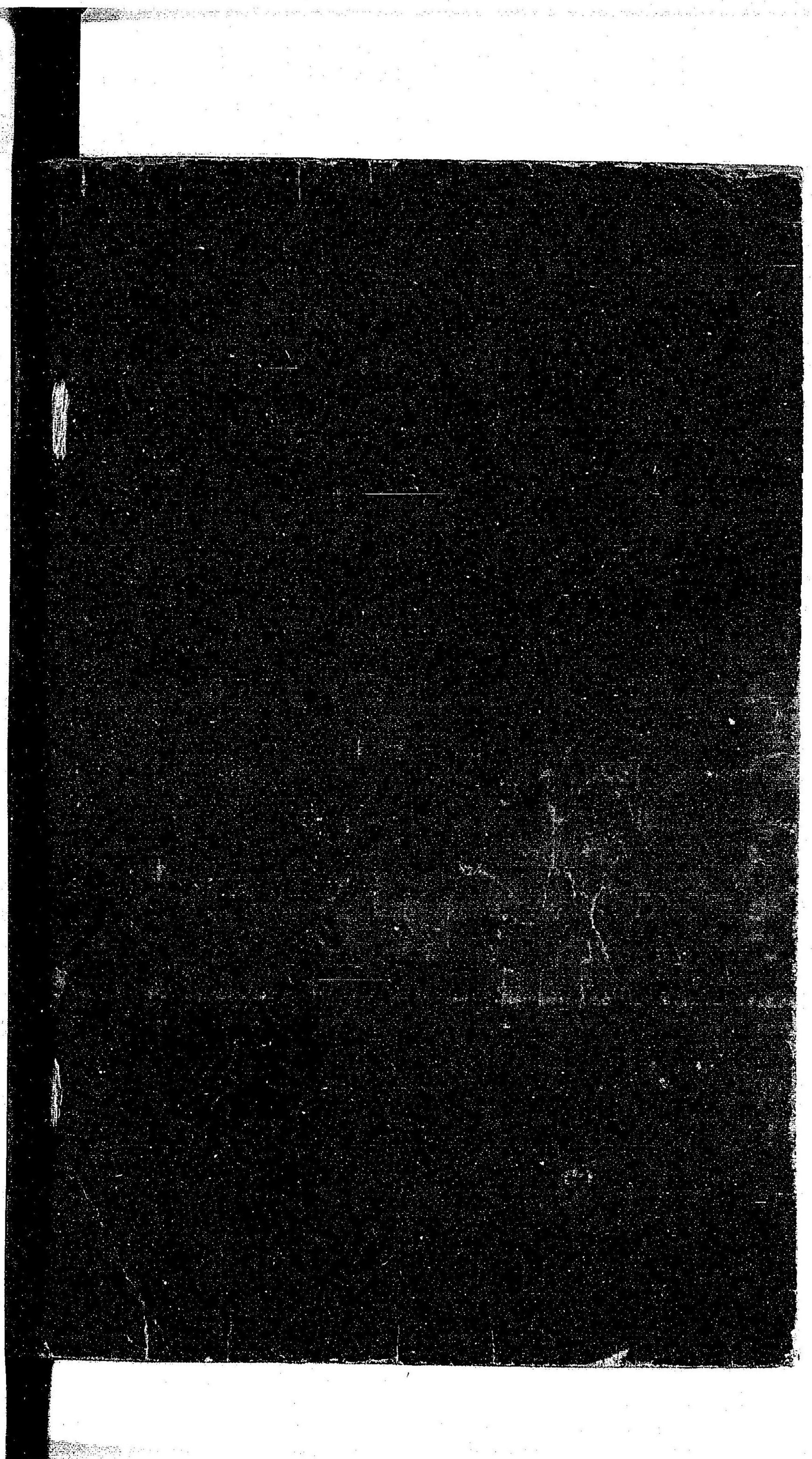
コレハ各郡ノ下等社會ニ誤用セラル、音ナリ。

越佐方言集大尾。

越佐方言集正誤表

| 枚行                             | 誤                             | 正                             | 枚行                             | 誤         | 正         |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------|-----------|
| 五枚目 <sup>十</sup> <sub>五</sub>  | (聽カノ、坊カ)                      | (聽カヌ、坊カ)                      | 六枚目 <sup>十</sup> <sub>四</sub>  | 貴人下輩      | 貴人ハ、下輩    |
| 六枚目 <sup>十</sup> <sub>五</sub>  | 御 <sup>ハ</sup> 前 <sup>ハ</sup> | 御 <sup>ハ</sup> 前 <sup>ハ</sup> | 六枚目 <sup>十</sup> <sub>四</sub>  | ナリトイフ。    | ナリ、トイフ。   |
| 九枚目 <sup>十</sup> <sub>二</sub>  | (コメムシ)トイフ                     | (コメ)ヲよなむ、トイフ                  | 九枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub>  | もトち或ハむいな  | もトな或ハむいな  |
| 十三枚目 <sup>十</sup> <sub>四</sub> | あふぶなきそ                        | あふぶなきこそ                       | 十四枚目 <sup>十</sup> <sub>二</sub> | 南允、南允     | 南无、南无     |
| 十七枚目 <sup>十</sup> <sub>二</sub> | どッべつもない                       | どッべつもない                       | 十七枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | ナリトゾ、     | ナリトゾ、     |
| 十七枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | 一向ニ副詞ヲ                        | 一向ニトイフ、副詞ヲ                    | 二十枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | ソレト共ニ     | ソレト共ニトイフ、 |
| 廿一枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | 「シヤラクサイノ」                     | 「シヤラクサイノ」                     | 廿一枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | どッばづが     | どッばづか     |
| 廿三枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | こつたム、こつたいハ                    | こつたい、こつたいハ                    | 廿三枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | ナト、イフ     | ナド、イフ。    |
| 廿四枚目 <sup>十</sup> <sub>一</sub> | 「八鹽に、染而云云                     | 「八鹽仁、染而云云                     | 廿八枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | 言ノ如キ、     | 言ノ如ク、     |
| 廿八枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | はげる剝脱                         | はげるトイフ、ハ剝脱                    | 廿九枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | わつ、い      | ね、つ、い     |
| 廿九枚目 <sup>十</sup> <sub>五</sub> | そべ側ノ意カ。                       | そべハ、側ノ意カ。                     | 卅三枚目 <sup>十</sup> <sub>三</sub> | 「本ヲ持テ來ヨト」 | 「本ヲ持テ來ヨト」 |
| 卅三枚目 <sup>十</sup> <sub>六</sub> | 知らないわん!                       | 知らないわん!                       |                                |           |           |





越佐方言集  
完

818.41

Tab35e

081959-000-1

818.41-Ta835e

越佐方言集

田中 勇吉/編

M25

DAC-6962

